888

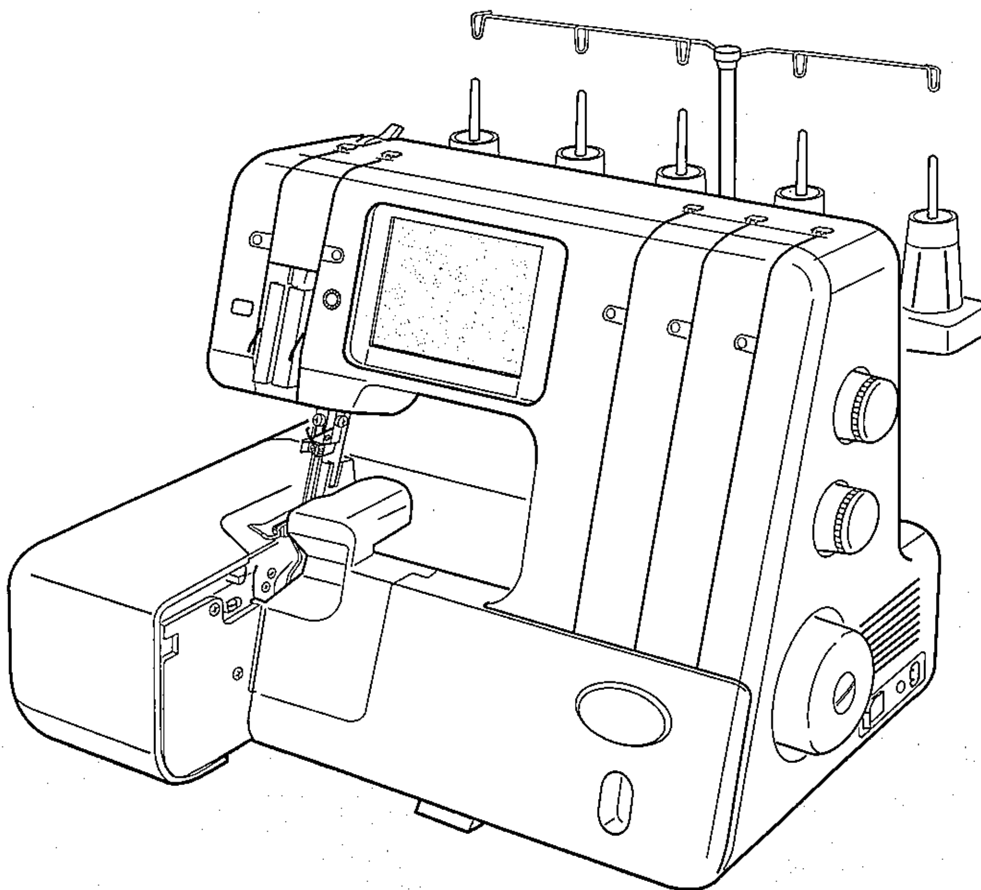
270B.

888-802-062

使い方の手びき

《取扱説明書》

MY LOCK Computer 270B



JANOME

安全上のご注意

◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 For use in japan only.

危害・損害の程度を表わす表示

⚠警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	⚠注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

本文中の図記号の意味

⚠	△記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
分解禁止記号	⃠記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
!	●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

⚠警告 感電・火災の恐れがあります。

必ず実行：一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。	必ずプラグを持って抜く：以下のような時は、電源スイッチを切り電源プラグを引き抜いてください。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシン使用中に停電したとき

⚠注意 感電・火災・けがの原因となります。

分解禁止：お客様自身での分解はしないでください。	必ず実行：ミシン操作時は、面板などのカバー類を閉じてください。
接触禁止：ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。	必ず実行：お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用される時は、特に安全に注意してください。
禁止：縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。針が曲がり、針折れの原因になります。	必ずプラグを持って抜く：以下のことをするときには、電源スイッチを切ってください。 ・針・針板・押さえ・アタッチメントを交換するとき ・上糸・下糸をセットするとき ・ランプを交換するとき(ランプが冷えてから行ってください。) ・ミシンのお手入れを行うとき
禁止：曲がった針はご使用にならないでください。	
禁止：付属の電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。 このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。	必ずプラグを持って抜く：ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 ・正常に作動しないとき ・水に濡れたとき ・落下などにより破損したとき ・異常な臭い・音がするとき ・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき
禁止：電源コードの上に、物をのせないでください。	
必ず実行：針及び押さえは、確実に固定してください。又、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。 針が押さえにあたり、けがの原因になります。	

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

目　次

● おとり扱いについてのお願い

★より安全のために…

① ミシンを動かしているとき、**針から目をはなさないように**注意し、はずみ車、メス、針などに手を触れないでください。

② つぎのようなときは、**必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。**

■ 使用後

■ ミシンのそばをはなれるとき

■ 部品をつけたり、はずしたりするとき

■ ミシンの手入れをするとき

③ コントローラーの上には物をのせないでください。

④ たこ足配線は、危険ですからやめましょう。

★ご使用の前に…

① ほこりや油などで布を汚さないように、使う前にミシンをよくふいてください。

② ミシンのセットや、針板、メス、針を交換するときには、この《使い方の手びき》を見て、正しく、確実にセットしてください。

③ ミシンをセットしたら、ルーパーカバーと布板が確実にしめてあることを確認し、実際に縫うものと同じ布や糸でためし縫いをしてみましょう。

★いつまでもご愛用いただくために…

① ほこりや油などの汚れは、水をつけずに、乾いたやわらかい布でふきとります。
＊シンナー、ベンジン、みがき粉は絶対に使用しないでください。

② 長時間日光にあてたり、ストーブのそばに置いたりしないでください。

③ 湿気の多いところはさけてください。

④ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。

● 修理、調整についてのご案内

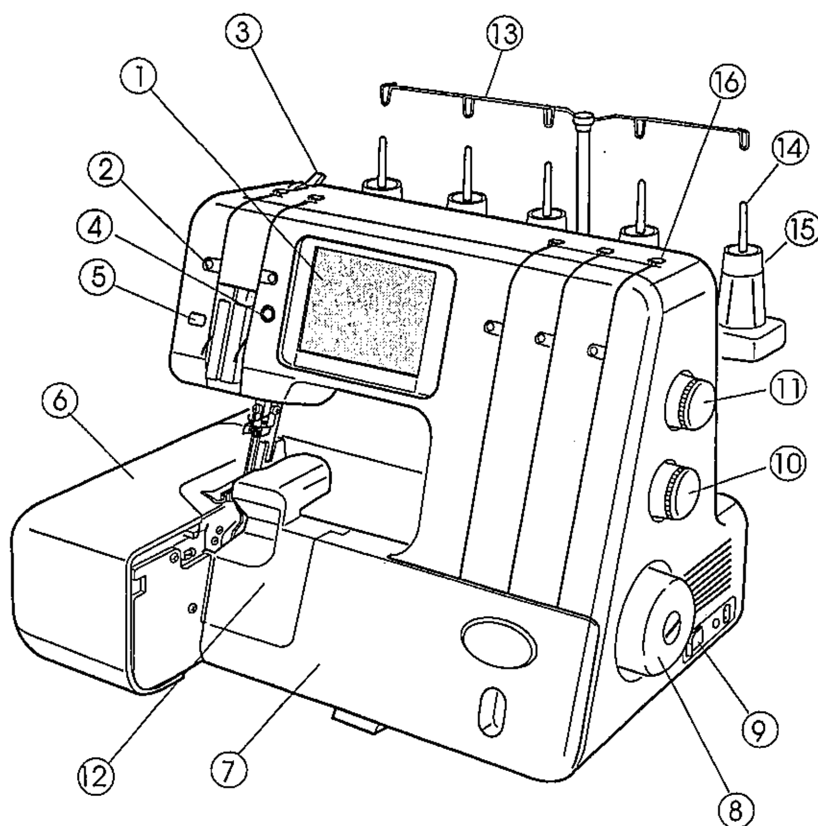
万一不調になったり、故障を生じたときは、「調子がよくないときの直し方」(48ページ)により点検・調整を行なってください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

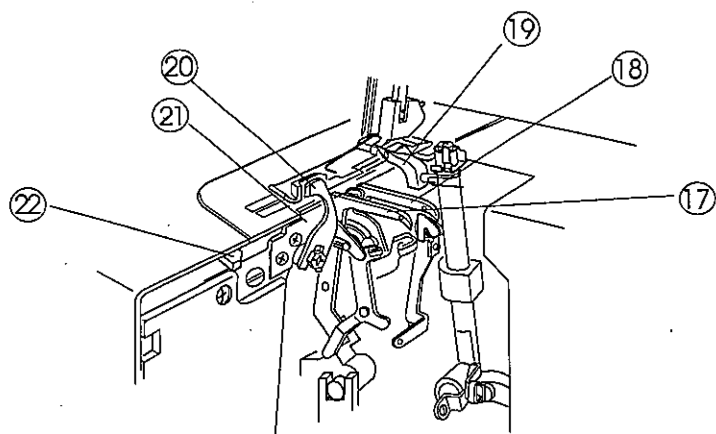
● このミシンは、日本国内用に作られていますので、外国では使用できません。

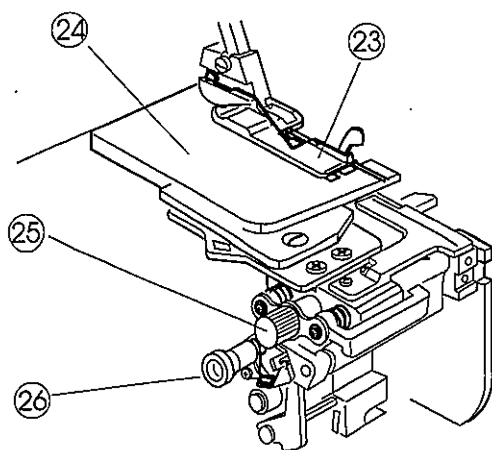
(This sewing machine can not be used in foreign country as designed for Japan only.)

仕様及び外観は改良のために予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

● 各部の名まえ







①タッチパネル
②糸道ガイド
③押え圧ダイヤル
④輝度調整つまみ
⑤上下停針ボタン
⑥布板
⑦ルーパーカバー
⑧はずみ車
⑨電源スイッチ
⑩伸縮送りダイヤル
⑪ぬい目あらさダイヤル
⑫布案内A
⑬糸掛けスタンド
⑭糸立て棒
⑮糸こまホルダー
⑯天板糸案内
⑰二重かんルーパー
⑱下ルーパー
⑲上ルーパー
⑳上メス
㉑下メス
㉒かがり爪つまみ
㉓押え
㉔針板
㉕切り幅調節ダイヤル
㉖上メスつまみ

● ダストボックス

○ ルーパーカバーの中央下側にダストボックスの支えがあります。ダストボックス後方の真中の爪をその支えに押しこみ左側へ移動させ、ダストボックス左側面の丸い突起を側板の穴に入れます。

○ はずすときは、ダストボックスを右へ寄せて、手前に引きぬきます。

①ダストボックス

②丸い突起

③側板穴

● 物入れケース

○ 物入れケースはダストボックスの中におさめられます。

①ダストボックス

②物入れケース

● 標準付属品

①糸こまネット

②糸こま押え

③針ケース
HA×1SP14番、11番

④上メス

⑤スプレッダー

⑥ドライバー(大)

⑦ドライバー(小)

⑧ピンセット

⑨ブラシ

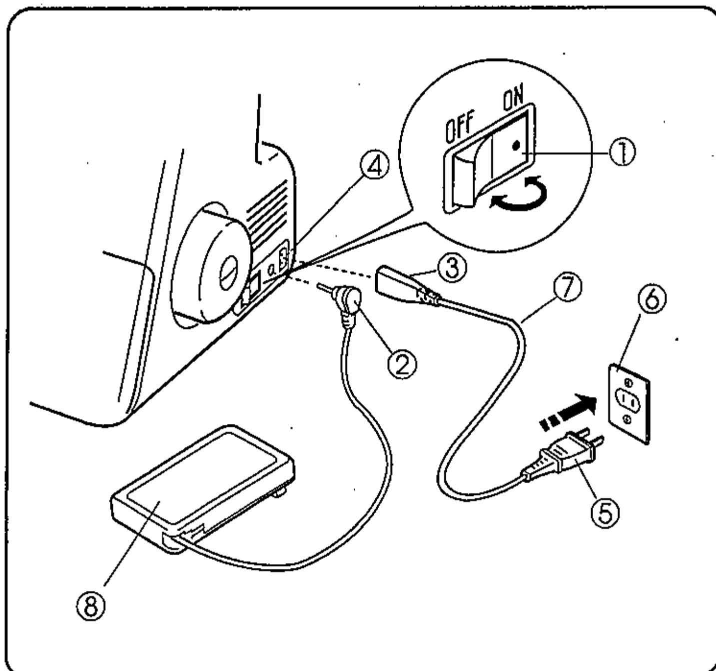
⑩スパナ

⑪油さし

⑫針糸通し器

⑬針板B
⑭押えB
⑮布案内B
} カバーステッチ、二重かんぬい用

● 電源のつなぎ方



1. 電源スイッチを「OFF」にして、コントローラーと電源コードのプラグをプラグ受けにさしこみます。
2. 電源プラグをコンセントにさしこみます。
3. 電源スイッチを「ON」にします。
   ＊電源スイッチの「ON」「OFF」の操作間隔はコンピューターに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間隔をあけてください。
   ＊電源は、一般家庭用（100V 50／60Hz）です。

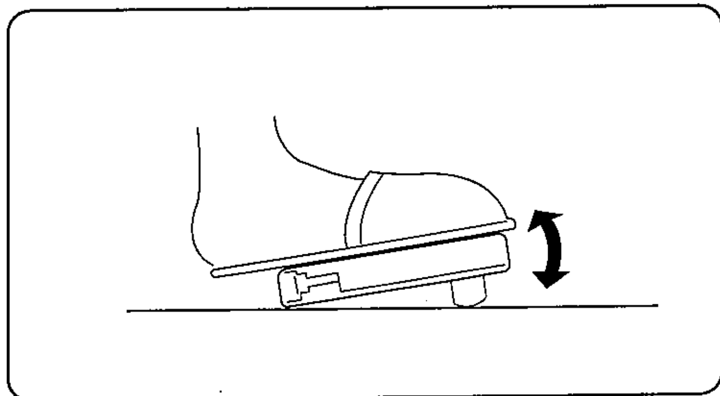
⚠ ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 電源プラグやプラグを抜くときは、コードを引張らないでください。

⚠ コントローラーのコードリールは、赤いテープの印より引き出さないでください。

①電源スイッチ
②コントローラープラグ
③電源プラグ（ミシン側）
④プラグ受け
⑤電源プラグ（コンセント側）
⑥コンセント
⑦電源コード
⑧コントローラー

● 速度の調節になれましょう



ミシンの速さは、コントローラーで調節します。

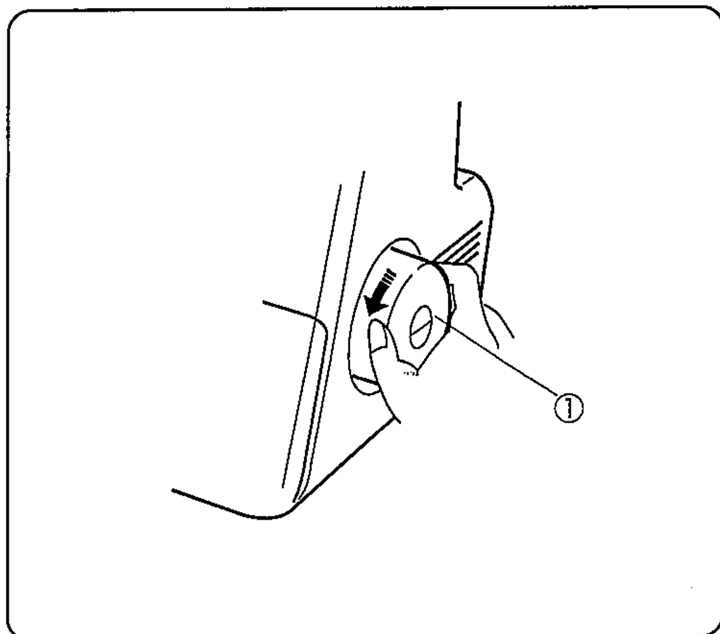
○ コントローラーは深く踏みこむほど速くなります。

⚠ コントローラーの上に、物を置かないでください。

＊このミシンは過熱を防ぐための安全装置がついています。ミシンに無理な負荷がかかったりしてロックした場合は、画面に「安全のため停止しました」という注意が表示されてミシンは自動的に停止します。
ロックした原因を取り除いてから、運転を再開してください。
コントローラーを踏み直しても、注意画面が出ている間は運転できません。

＊コントローラーをいっぱいに踏みこんだときの最高回転数は、ぬい目に合わせてそれぞれ適切な速度に自動的に設定されています。

● はずみ車の回転方向

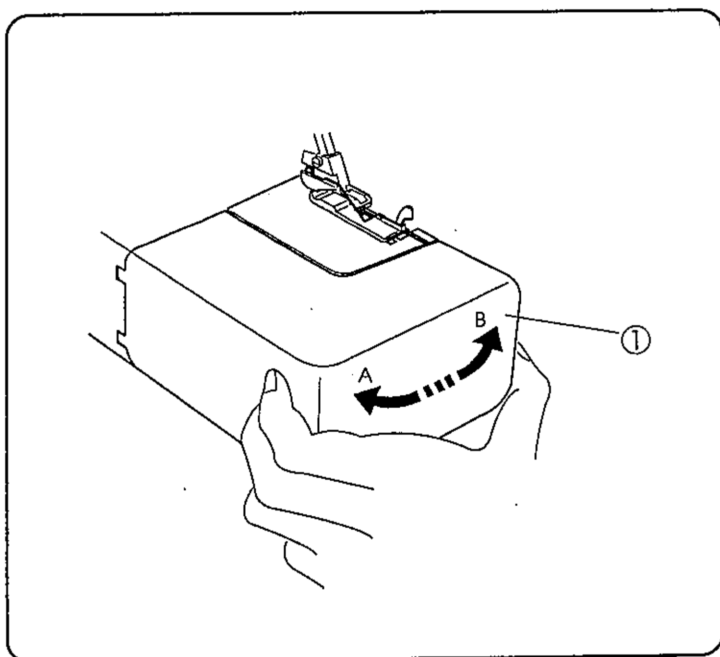


⚠電源スイッチを切ってください。

はずみ車は手前にまわします。
(反時計方向)

①はずみ車

● 布板のあけ方、しめ方



⚠電源スイッチを切ってください。

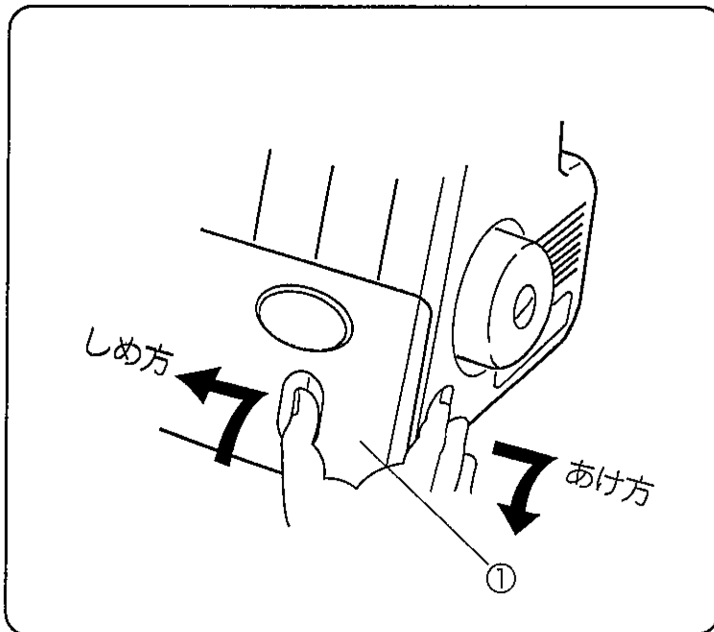
◆ **あけ方**
布板を左へ押してあけます。
(A方向)

◆ **しめ方**
布板を右へ押してしめます。
(B方向)

①布板

＊布板には安全装置が付いています。
ぬうときはしめて使います。

●ルーパーカバーのあけ方、しめ方



⚠電源スイッチを切ってください。

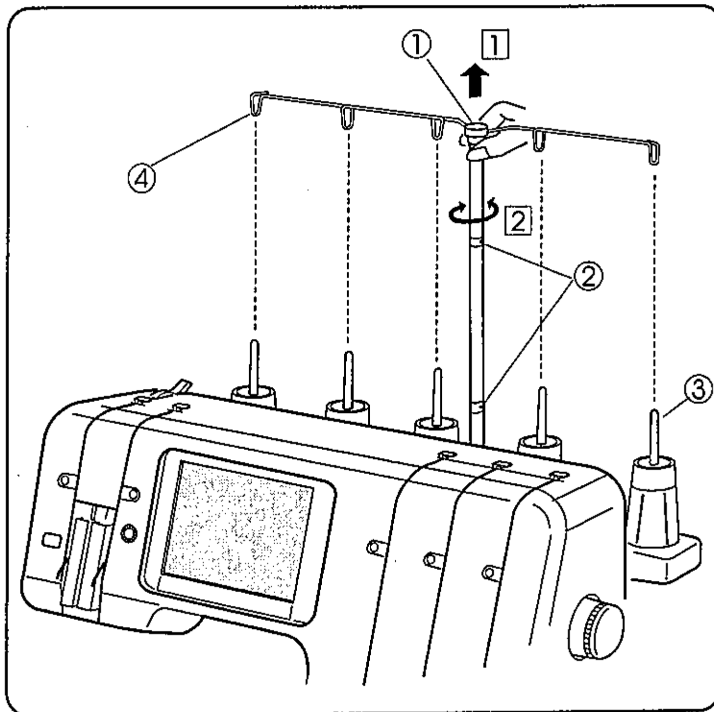
◆ **あけ方**
ルーパーカバーの指掛けに親指を掛け、右いっぱいに寄せながら、手前にひきます。

◆ **しめ方**
ルーパーカバーを持ち上げて軽く向こう側へ押し、更に左へ押すと元の位置にもどります。

①ルーパーカバー

*ルーパーカバーには安全装置が付いています。ぬうときはしめて使います。

●糸掛けスタンドの位置決め

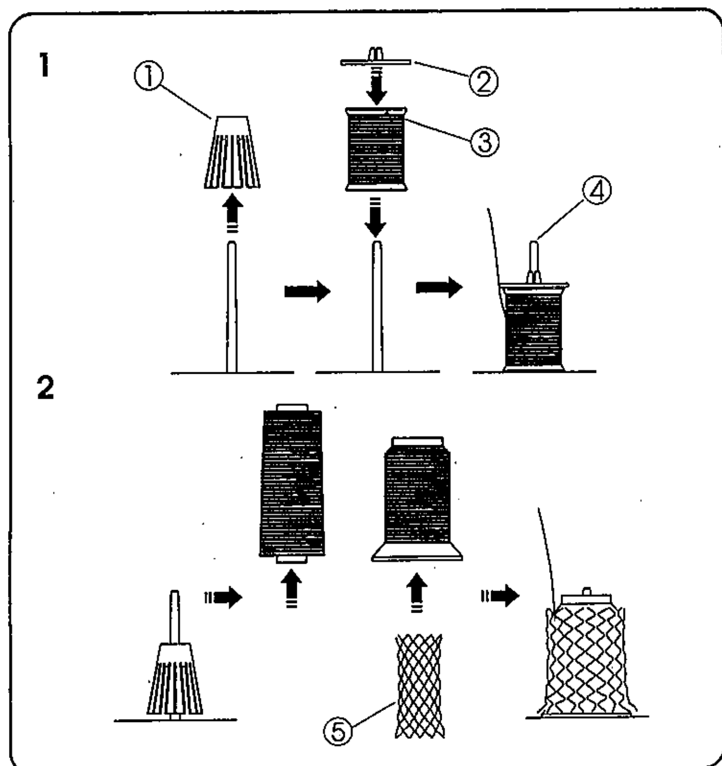


1 糸掛けスタンドをいっぱいに伸ばします。

2 糸掛けが糸立て棒の真上にくるように、糸掛けスタンドを回転させて、ストッパーで位置を決めます。

①糸掛けスタンド
②ストッパー
③糸立て棒
④糸掛け

● 糸こま押え、糸こまネットのつけ方

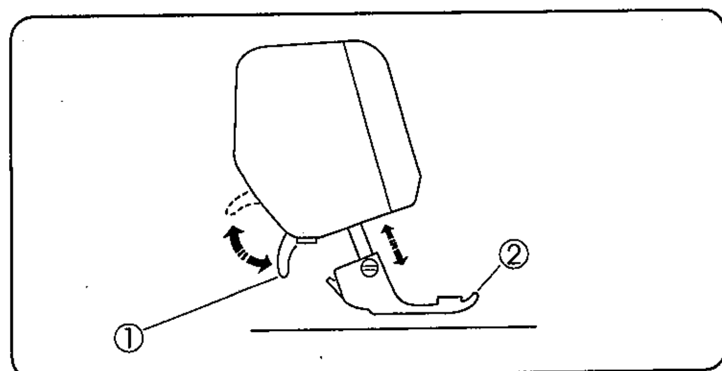


このミシンはこま巻き糸と、チーズ巻き糸が使用できます。

1. こま巻き糸は、糸こまホルダーをはずして切り欠きのあるほうを上にして、糸こま押えをはめてください。
2. チーズ巻き糸は糸こまホルダーを使います。特に化繊糸などの巻きがくずれやすい糸を使用するときは、付属の糸こまネットを下からかぶせてご使用ください。

①糸こまホルダー
②糸こま押え
③切り欠き
④糸立て棒
⑤糸こまネット

● 押えのあげ方、さげ方

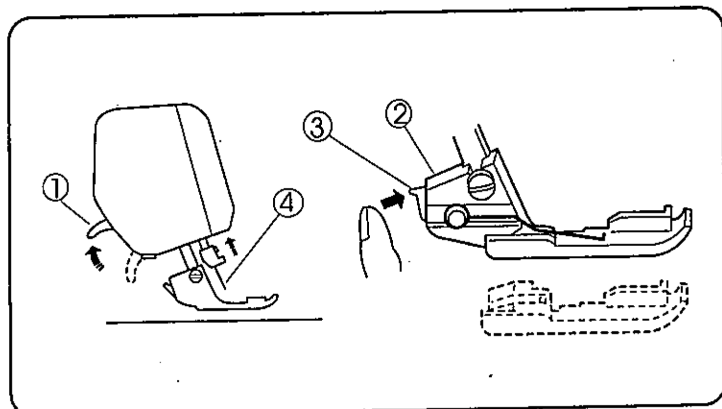


押え上げで押えをあげたり、さげたりします。
押えはさげて使用します。

＊押え上げをあげると、糸調子器は開放します。

①押え上げ
②押え

● 押えのはずし方、つけ方



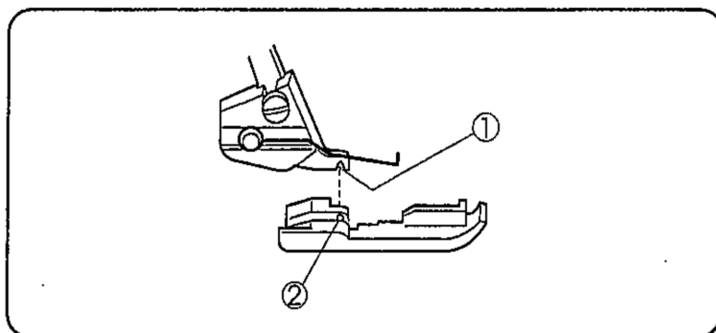
①押え上げ　②押えホルダー　③レバー　④針

押えはAとBがあり、それぞれぬい目の種類によって使い分けます。
詳細は38ページのぬい目とミシンのセットを参照ください。
・押えA：カバーステッチ、二重かんぬい以外のすべてのぬい目
・押えB：カバーステッチ、二重かんぬい

⚠電源スイッチを切ってください。

◆はずし方

1. はずみ車をまわして針をあげ、押え上げをあげます。
2. 押えホルダーのレバーを押して、押えをはずします。



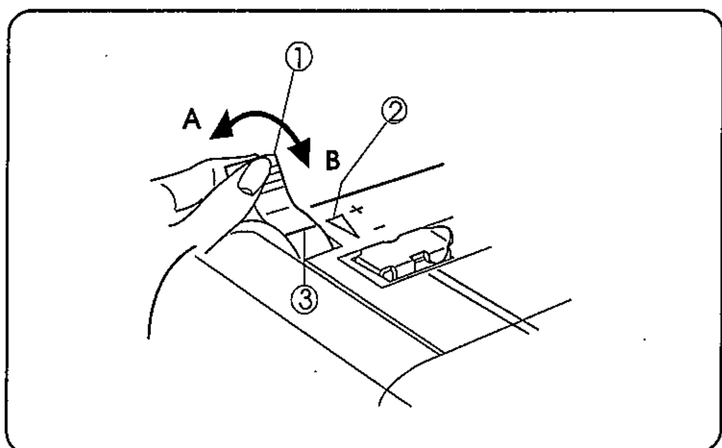
①押えホルダーのみぞ　②押えのピン

⚠ 電源スイッチを切ってください。

◆つけ方

1. 押えのピンを押えホルダーのみぞの真下において、押え上げをさげれば自動的にセットされます。
2. 押え上げをあげ、押えが確実にセットされていることを確認してください。

● 押え圧の調節



①押え圧ダイヤル　②押え圧指示マーク
③指示線

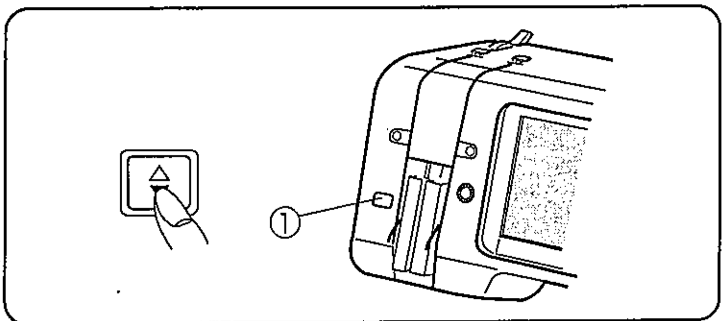
このミシンは、通常、押え圧を調節する必要はありませんが、すべりやすい生地、厚い生地を重ねてぬう場合など、押え圧を調節したほうがぬいやすい場合があります。

図のように押え圧ダイヤルの指示線が真上にあるのが標準位置で、5段階に調節できます。

・強くしたい場合……A方向
・弱くしたい場合……B方向

＊ぬい終わったら、標準位置にもどしておきます。

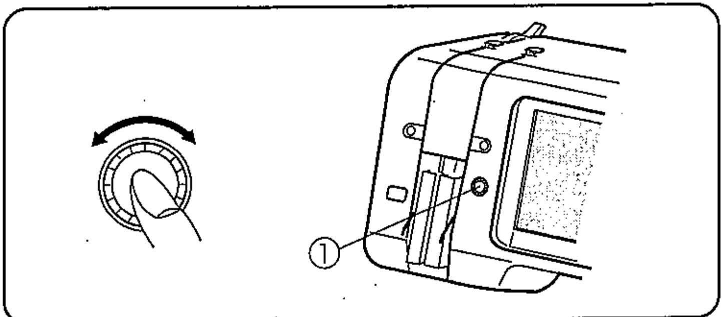
● 上下停針ボタン



ボタンを押すと針位置が上下に切り替わります。

①上下停止ボタン

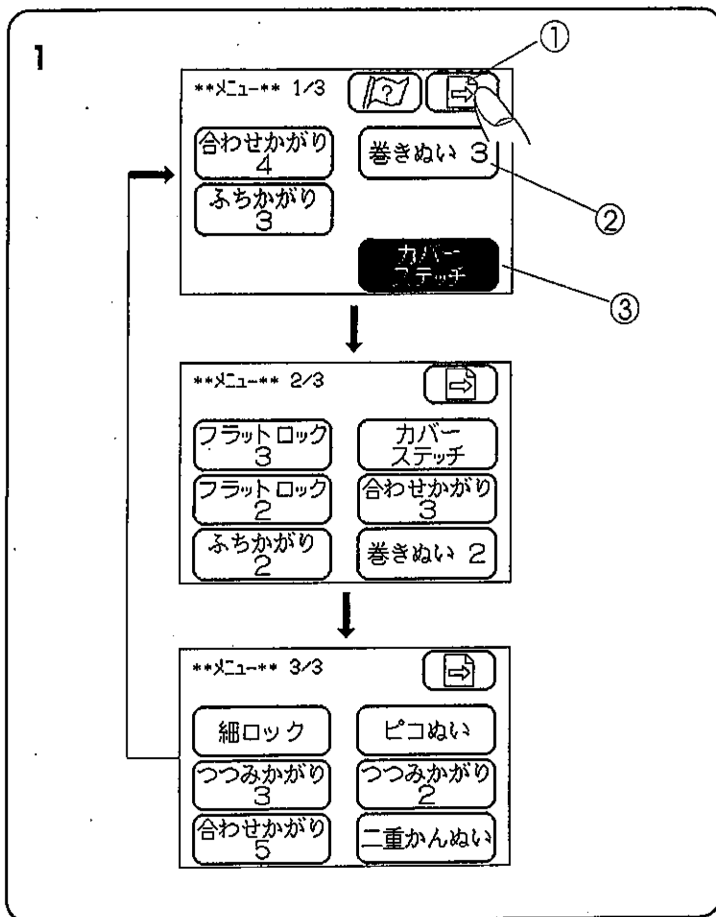
● 輝度調整つまみ



つまみをまわすと、タッチパネルの画面のあかるさが変わります。
見やすいあかるさに調節します。

①輝度調整つまみ

●ぬい目の選び方



1. 電源スイッチを入れるとタッチパネルにはメニュー画面1／3ページが表示されます。
2. [⇨]キーを押すと、メニュー画面2／3ページ、3／3ページが順番に表示され、15種類のぬい目を選ぶことができます。

①ページキー

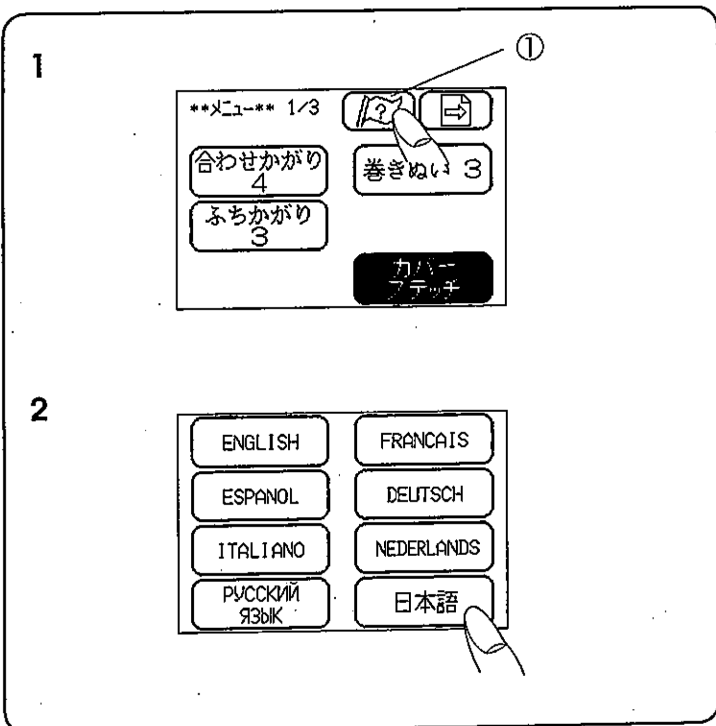
②ぬい目キー

③安心記憶キー

◆ **安心記憶**

ぬい作業を中断して電源スイッチを切っても、もう一度電源スイッチを入れると、メニュー画面1／3ページの右下の安心記憶キーに電源スイッチを切ったときのぬい目が表示されます。
この安心記憶キーを押すと、そのぬい目の画面にもどるので、すぐにぬい作業を再開できます。

● 言語表示の切り替え

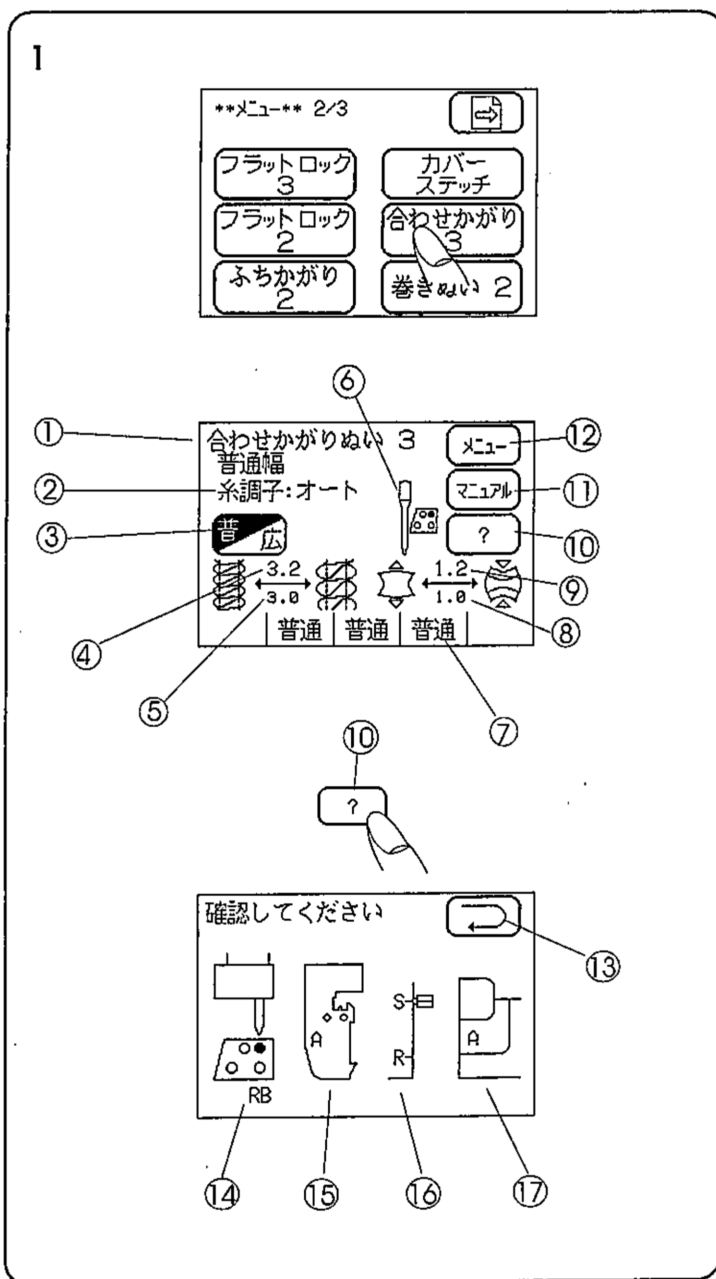


1. タッチパネルに表示される言語を切り替えるときは、メニュー画面1／3ページの[?]キーを押すと、言語選択画面になります。

①言語キー

2. 切り替えたい言語を押すと、すべての画面がその言語で表示されます。

● ぬいセット画面



メニュー画面の中から好みのぬい目を選ぶと、そのぬい目に合った糸調子に自動的にセットされます。

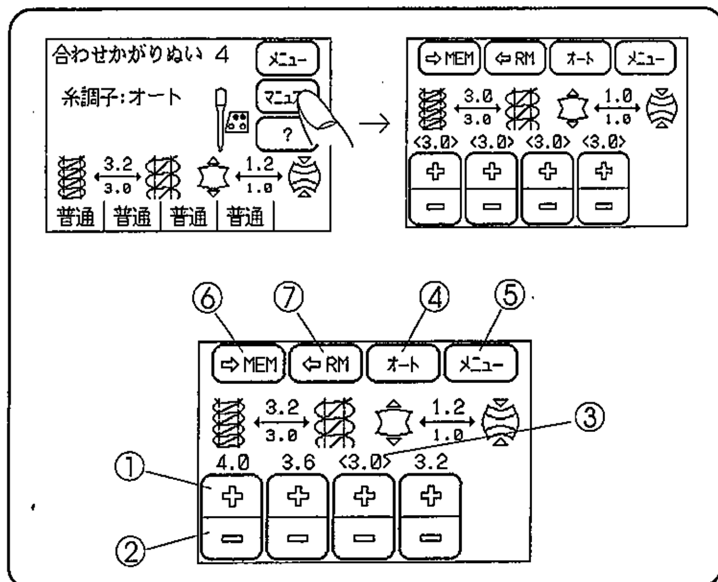
ぬい目あらさと伸縮送りの数字表示は、下段が推しょう値で、上段が現在のダイヤルセット値を表わしています。

まずは、ぬい目あらさダイヤルと伸縮送りダイヤルをまわして、推しょう値に合わせてぬってみましょう。

ぬいセット画面の表示は次の通りです。

①選んだぬい目の種類
②糸調子が自動設定(オート)であることを表示
③ぬい幅キー
　このキーを押すと、普通幅と広幅が切り替わります。
④ぬい目あらさの現在のダイヤルセット値
⑤ぬい目あらさの推しょう値
⑥選んだぬい目に使う針のとりつけ位置
⑦選んだぬい目に適した糸の種類
⑧伸縮送りの推しょう値
⑨伸縮送りの現在のダイヤルセット値
⑩セット確認キー
　このキーを押すと、セット確認画面が表われ、選んだぬい目に必要なミシンのセットを確認できます。
　⑬もどりキー
　　このキーを押すと、前の画面にもどります。
　⑭針のとりつけ位置
　⑮押えの種類
　⑯かがり爪つまみの位置
　⑰布案内の種類
⑪マニュアルキー
　このキーを押すと、マニュアル糸調子画面になります。
⑫メニューキー
　このキーを押すと、メニュー画面1／3ページにもどります。

● マニュアル糸調子画面



好みに合わせて糸調子を変えるときは、ぬいセット画面のマニュアルキーを押して、マニュアル糸調子画面を選びます。

①糸調子プラスキー
このキーを押すと、上の数字が大きくなり、糸調子が強くなります。

②糸調子マイナスキー
このキーを押すと、上の数字が小さくなり、糸調子が弱くなります。

③< >はその数字が、ぬいセット画面の設定値であることを表わしています。

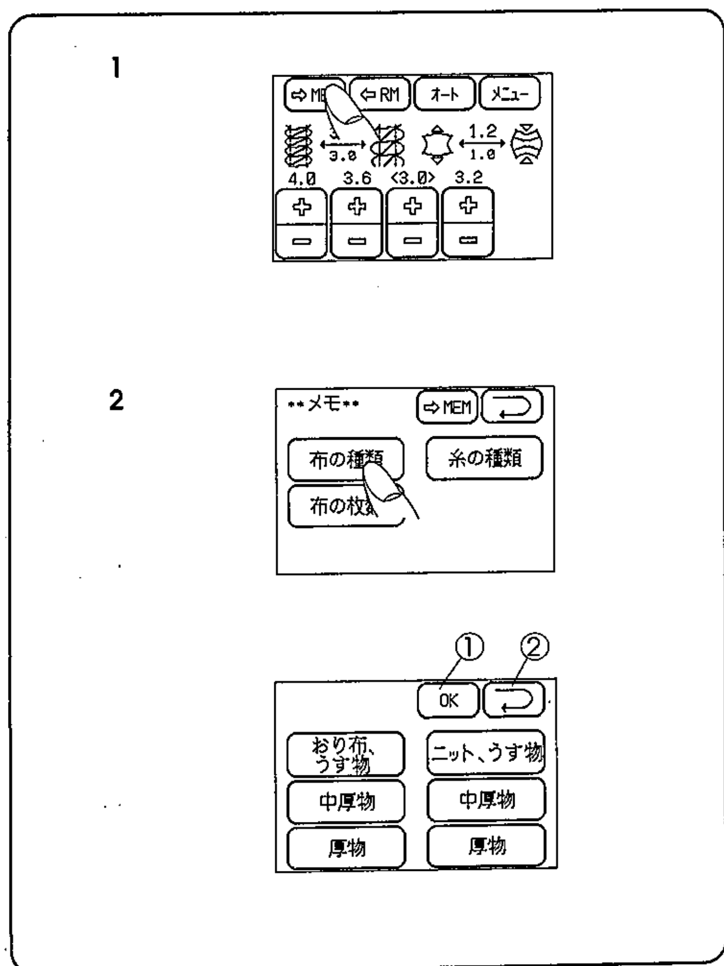
④オートキー
このキーを押すと、ぬいセット画面にもどります。

⑤メニューキー
このキーを押すと、メニュー画面1/3ページにもどります。

⑥記憶キー
糸調子、ぬい目あらさ、伸縮送りを調節したとき、このキーを押してその内容を記憶できます。

⑦記憶呼び出しキー
このキーを押すと、記憶したぬい目の内容を呼び出すことができます。

● お好み記憶



マニュアル糸調子画面で好みの布や糸に合わせて糸調子、ぬい目あらさ、伸縮送りを調節したとき、その内容を次のようにして記憶できます。

◆ メモ画面の入力

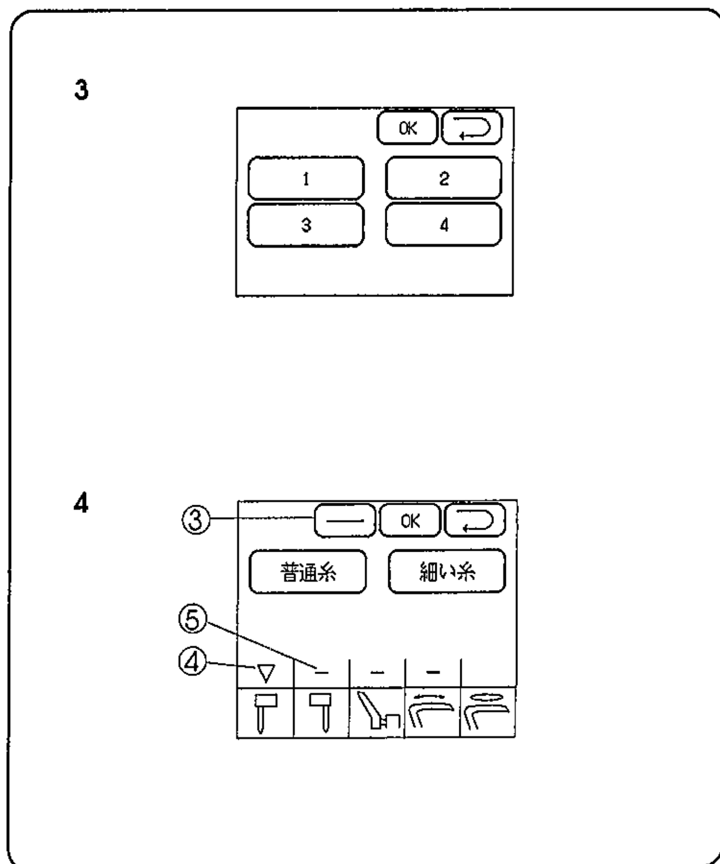
次の手順でキー入力します。

⇨MEM キーを押します。
↓
メモ画面が表示されます。
↓
布の種類 キーを押します。
↓
布の種類の画面が表示されます。
↓ 使った布を選びます。
おり布 中厚物 キーを押します。(例)
↓
OK キーを押します。

＊布の種類の画面は左の列がおり布で、右の列がニットを表わしています。

①OKキー　このキーを押すと選んだ内容が記憶されて、メモ画面にもどります。

②もどりキー　このキーを押すと、選んだ内容を記憶せずに、メモ画面にもどります。



メモ画面が再び表示されます。



[布の枚数]キーを押します。



布の枚数の画面が表示されます。

 2枚でぬったときは、

[2]キーを押します。



[OK]キーを押します。



メモ画面が表示されます。



[糸の種類]キーを押します。



糸の種類の画面が表示されます。

▽マークの位置で使った糸を選びます。

[普通糸]キーを押します。(例)

 使った糸を全部選びます。

[普通糸]キーを押します。(例)



[OK]キーを押します。



メモ画面にもどります。

③糸指定送りキー
このキーを押すと、▽マークが次の糸の位置へ移動し、糸の種類は登録されません。

④▽マーク
このマークの位置の糸の種類を入力できます。

⑤糸指示マーク
選んだぬいで使う糸の位置を示します。

＊糸の種類の入力は使うすべての糸を指定しないと[OK]キーは受けつけません。
糸指定送りキーでとばした場合は、受けつけます。

＊メモが必要でない項目は選ばないで、記憶操作に移ることもできます。

◆ 記憶操作

ぬい条件の入力が終わりましたら登録します。

[⇨MEM]キーを押します。
↓
記憶場所指定画面が表示されます。
↓　メモリー1に記憶するときは、

[メモリー1]キーを押します。
↓
現在、メモリー1に記憶されている内容が表示されます。

（新しい内容を記憶するときは）
[OK]キーを押します。
↓
新しい内容が表示されます。
↓　内容を確認して
[OK]キーを押します。
↓
操作終了です。

（現在の内容を残したいときは）
[↩]キーを押します。
↓
記憶場所指定画面にもどります。
記憶場所を選びなおしてください。

＊記憶できる数はぬい目により異なり、1〜3個です。30ページの表に示します。

1
メモ　⇨MEM　↩
布の種類　糸の種類
布の枚数

2
↩
メモリー 1　メモリー 2
メモリー 3

3
メモリーの変更は
OKを押してください
合わせかがりぬい 4
↩
OK
おり布、中厚物
2枚
3.8 普通 | 3.4 普通 | 3.0 普通 | 3.4 普通

4
メモリー内容を確認し
OKを押してください
合わせかがりぬい 4
↩ ①
OK
おり布、中厚物
2枚
4.0 普通 | 3.6 普通 | 3.0 普通 | 3.2 普通

①もどりキー
このキーを押すと、記憶されずに記憶場所指定画面にもどります。

◆ 記憶呼び出し操作

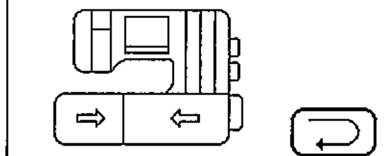
1. マニュアル糸調子画面で、[⇦RM]キーを押します。
2. 記憶している内容が表示されます。
複数の記憶ができるぬい目では、[⇨]キーを押すと、記憶した内容が順に表示されます。

1
⇨MEM　⇦RM　オート　メニュー
3.2 / 3.2　1.2 / 1.2
4.0　3.6　<3.0>　3.2
＋ ＋ ＋ ＋
－ － － －

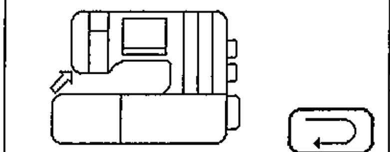
2
メモリー 1
合わせかがりぬい 4
メニュー
マニュアル
おり布、中厚物
2枚
⇨
3.2 / 3.2　1.2 / 1.2
普通 | 普通 | 普通 | 普通

● 安心センサー

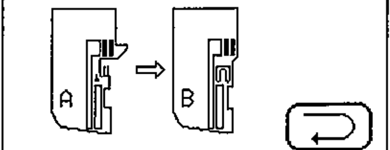
1



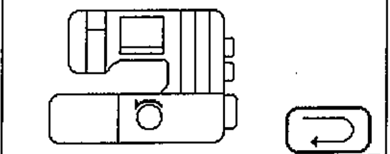
2



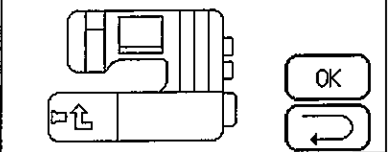
3



4



5



このミシンには5つの安心センサーがありますので、安心してお使いいただけます。
次のそれぞれの状態でコントローラーを踏んでも安心センサーが働いて、タッチパネルに左図の画面が表示され、警告音を発して、ミシンは動きません。画面の指示に従って正しいセットにすればミシンを動かすことができます。

＊いずれの画面も[↩]キーを押せば前の画面にもどります。

1. ルーパーカバーと布板のいずれか一方でもあいているとき。

2. 押え上げがあがっているとき。

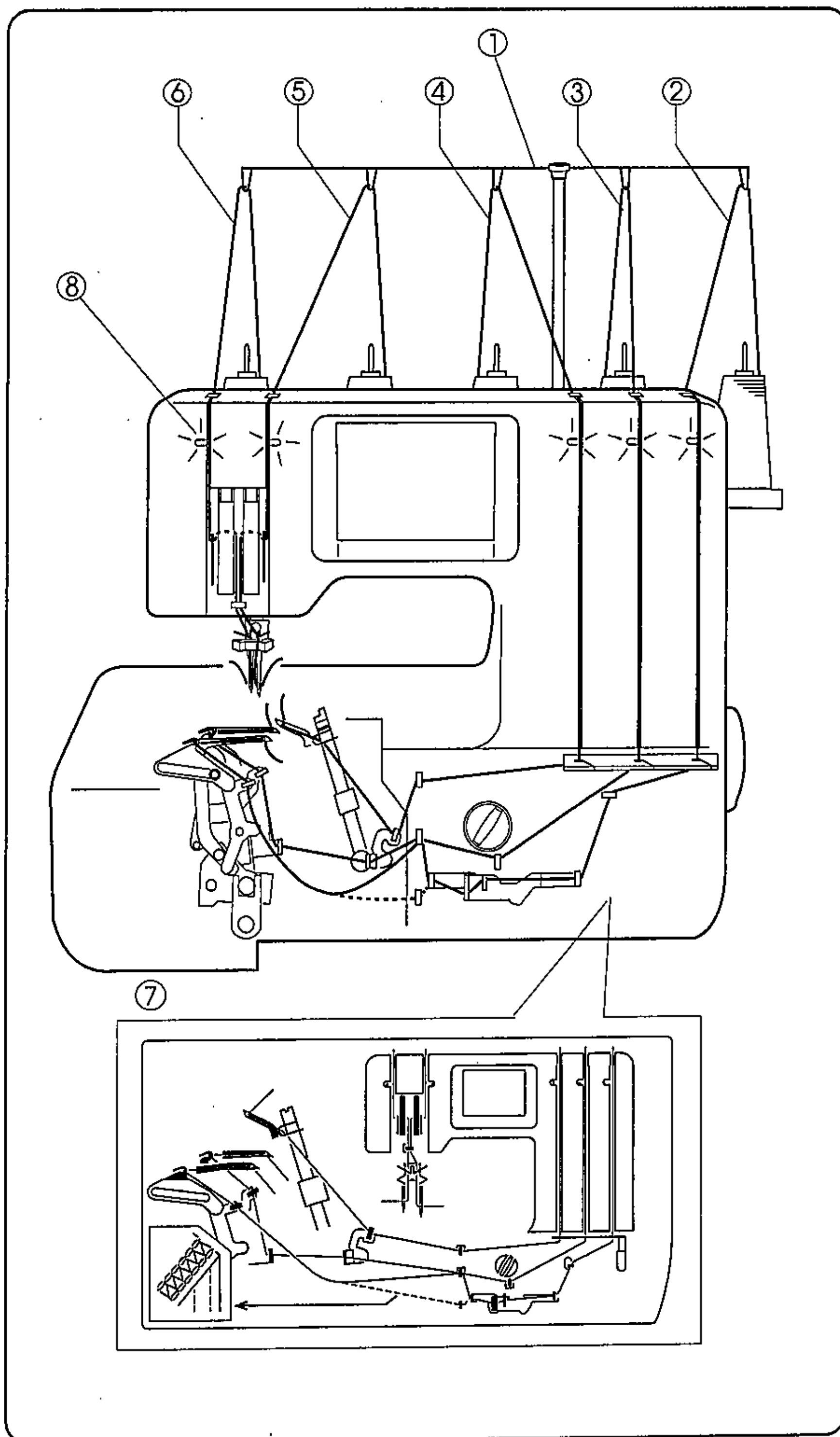
3. 選んだぬい目に対して針板の種類が合っていないとき。

4. 選んだぬい目に対して上ルーパー切替えダイヤルのセットが合っていないとき。

5. 選んだぬい目に対して上メスつまみのセットが合っていないとき。

＊ただし、特別に布を切らずにぬいたい場合、[OK]キーを押せば、そのままミシンを動かすことができます。

● 糸道の名まえ



糸道の名まえは左図のようになっています。

①糸掛けスタンド
②二重かんルーパー糸道
③下ルーパー糸道
④上ルーパー糸道
⑤右針糸道
⑥左針糸道
⑦糸道案内図
⑧糸道ガイド

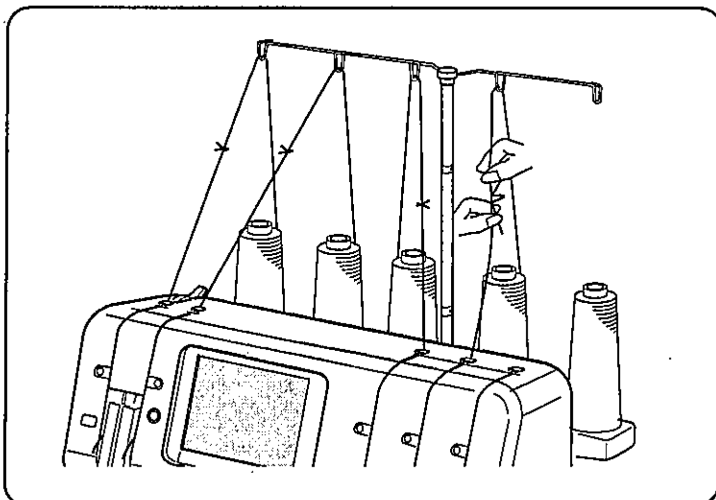
＊糸の通し方はぬい目によって異なりますので、ルーパーカバーをあけて正面の糸道案内図に従って確実に糸通しを行なってください。

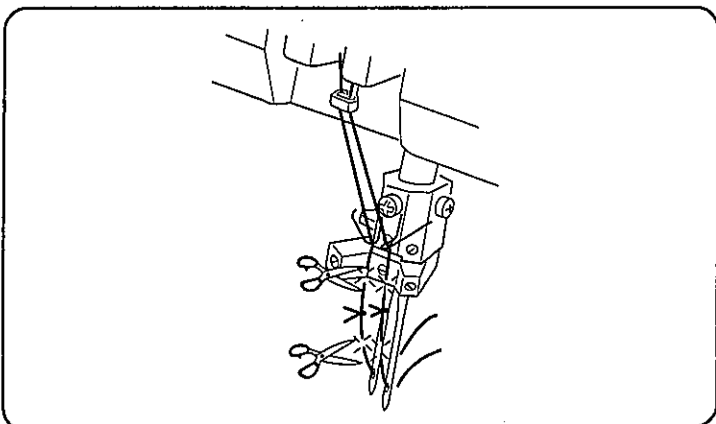
◆ マイコン糸道ガイド

メニュー画面でぬい目を選ぶと、選んだぬい目に使用する糸道の糸道ガイドが点灯して、正しい糸道を教えてくれます。

点灯した糸道ガイドに合わせて糸こまをセットし、電源スイッチを切ってから糸道案内図と色分けした糸道マークに従って糸を通します。

● 糸の交換



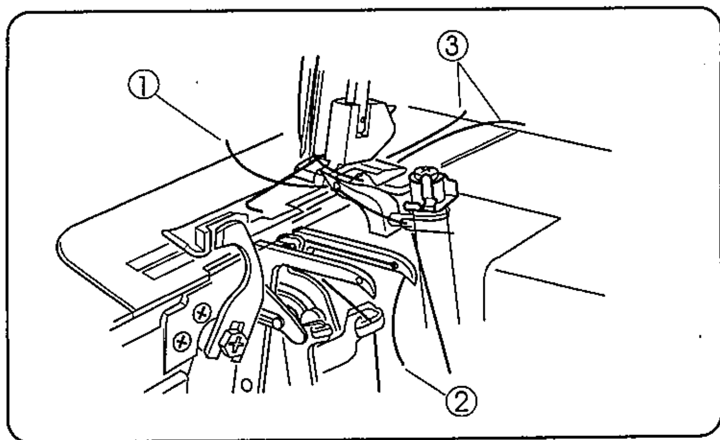


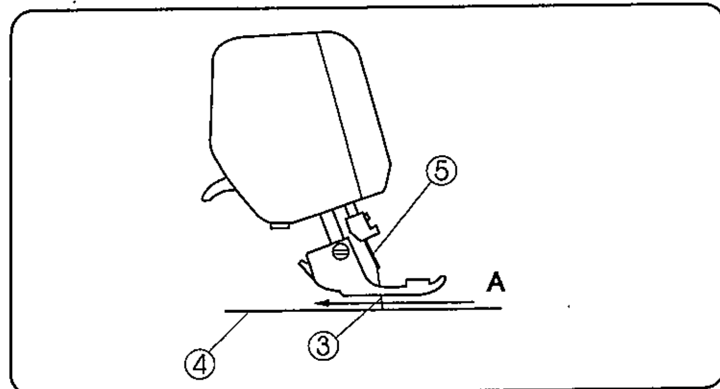
このミシンはあらかじめ糸がセットしてありますので、糸を交換するときは次のようにしてください。

⚠電源スイッチを切ってください。

1. 糸掛けスタンドの糸掛けに通して、セットしてあった糸と結びます。
2. 押えをあげて、結び目が押えの下から向う側に出るまで引き出します。
3. 針糸は結び目が針穴を通りませんので、手前まで来たら止めて、結び目の前後で切り、針穴にある糸を抜きとってから、糸を通します。
4. 針糸を通して、すべての糸を押えの下から後ろへ10cmほど引いてそろえ、押えをおろします。
5. これで糸の交換は終了です。

● 1本だけの糸通し





糸が1本だけ切れて通し直すときには次のようにします。

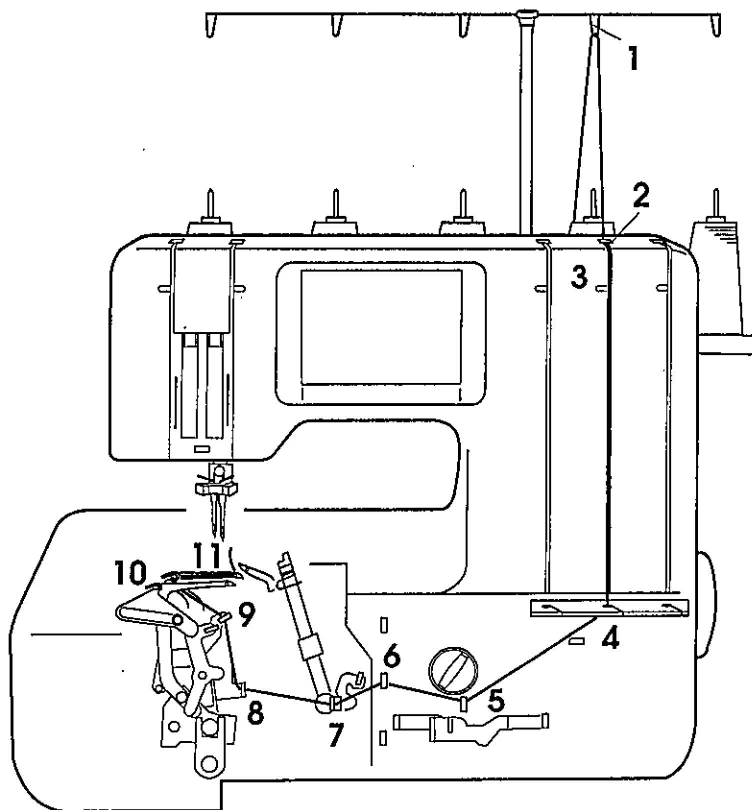
1. 切れてない残りのからみ合った糸を押えの後ろまで引き出して切り、糸どうしがからまっていない状態にします。
2. 切れた糸を通し直します。
3. はずみ車を手前にまわし、針を上いっぱいまであげます。
4. 押えの下の針糸を後ろに払って、針板の上に引き出せば、糸通しは終了です。(A方向に針糸を払います。)

＊この様に、すべての糸を通したあと、押えの下で糸を払うことにより、糸通しの順番を気にしないで糸を通すことができます。

①上ルーパー糸
②下ルーパー糸
③針糸
④針板
⑤針

● 各糸道の糸通し

◆ 下ルーパー糸の通し方

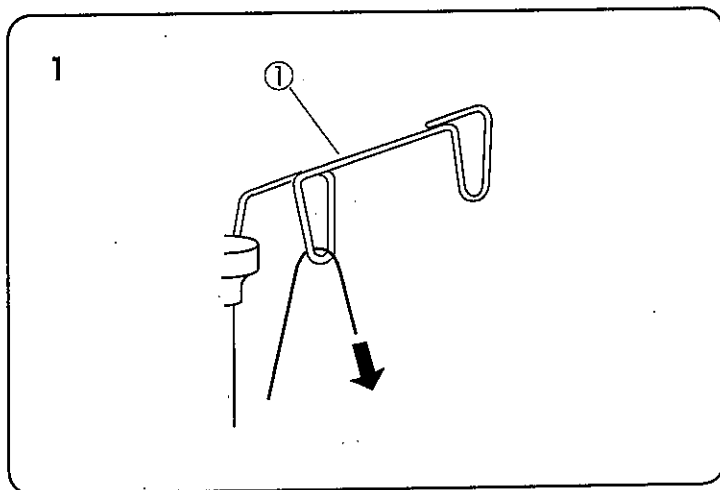


＊きみどり色のマークの糸道を通してください。

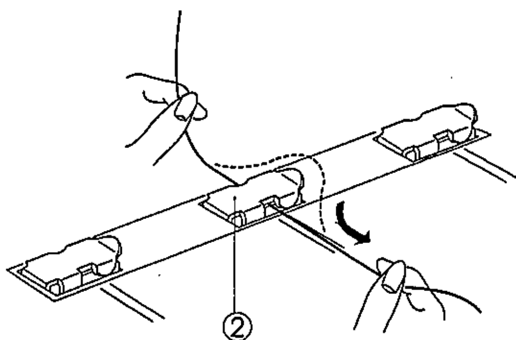
＊ルーパーカバーをあけます。
正面に糸道案内図があります。

＊押えをあげてください。

⚠ 電源スイッチを切ってください。

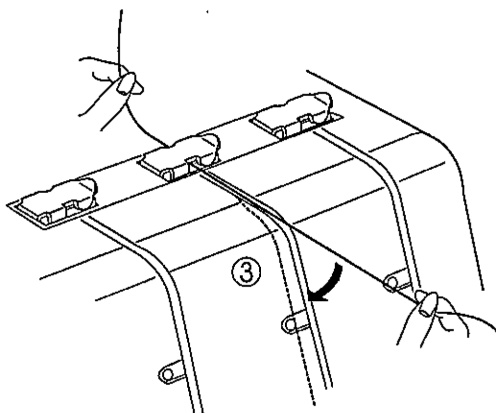


1. 糸立て台の右から2番目の糸立て棒に糸こまを立て、糸こまから引き出した糸を右から2番目の糸掛けに掛けます。



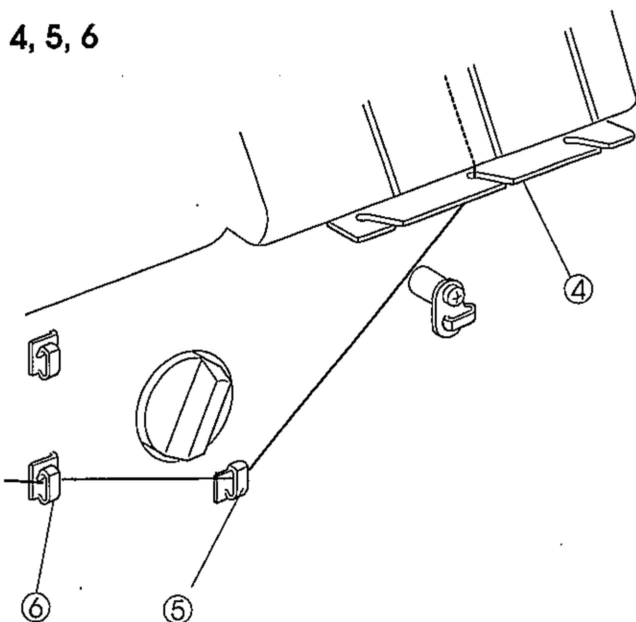
2. 右から2番目の天板糸案内に右から糸を通します。

②天板糸案内



3. 糸の両はしを持ち、みぞにそって糸を引き、下ルーパー糸調子器にきちんと糸を通します。

③下ルーパー糸調子器
（カバーの中）



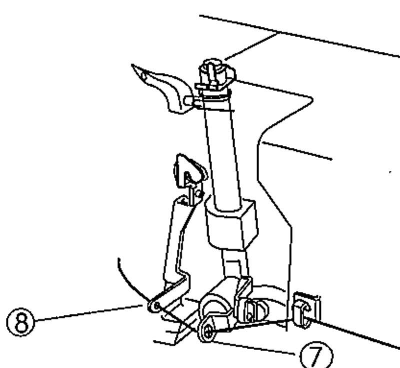
4. ルーパー糸案内の中央のみぞに糸を通します。

④ルーパー糸案内

5, 6. 下ルーパー糸案内(1)，(2)に糸を通します。

⑤下ルーパー糸案内(1)

⑥下ルーパー糸案内(2)



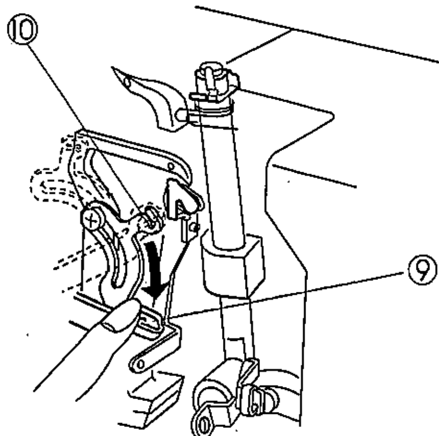
7. ルーパー天びん(下)に糸を通します。

⑦ルーパー天びん(下)

8. 下ルーパー糸案内(3)に糸を通します。

⑧下ルーパー糸案内(3)

9. はずみ車を手前にまわして下ルーパーを右側いっぱいにし、指で下ルーパー糸案内(4)を押しさげます。
そうすると、下ルーパー糸案内(5)が右側に出てきます。

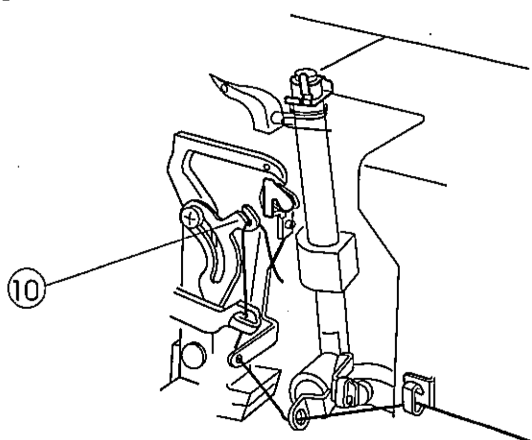


⑨下ルーパー糸案内(4)

⑩下ルーパー糸案内(5)

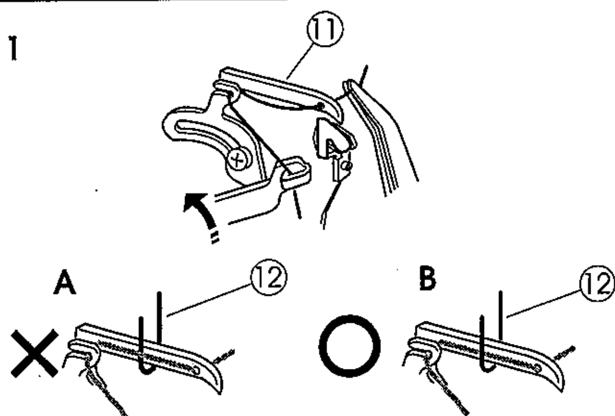
10. 下ルーパー糸案内(4)，(5)に糸を掛けます。
糸の先を持って、下ルーパー糸案内(4)を指で軽く持ちあげれば、下ルーパー糸案内(4)，(5)は元の位置にもどります。

＊下ルーパー糸案内(4)をもどしわすれても、はずみ車を手前にまわすと、下ルーパー糸案内(4)，(5)は自動的に元の位置にもどります。



⑩下ルーパー糸案内(5)

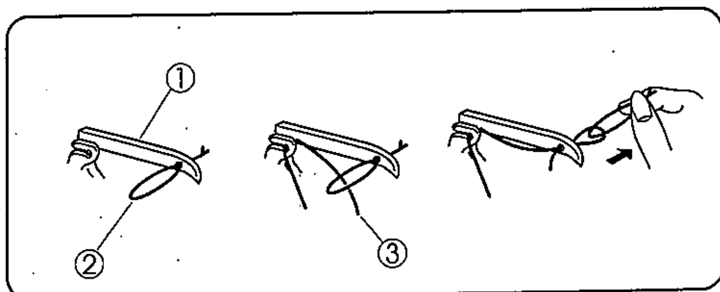
11. はずみ車を手前にまわして、下ルーパーを右側いっぱいにします。
下ルーパーの糸穴にピンセットで糸を通し、糸はしは糸穴から10cmほど引き出しておきます。
ルーパーカバーをしめます。



⑪下ルーパー　　⑫針糸

＊左図のAは針糸の上から下ルーパー糸が掛っている不正な糸道で、Bが正しい状態です。Aの状態でも、17ページのように、最後に押えの下で針糸を払えば、正しい糸道にととのえられます。

◆ウーリーナイロン糸やウーリーポリエステル糸の通し方



ウーリーナイロン糸やウーリーポリエステル糸は、図のように普通の糸で輪を作って引き出してください。

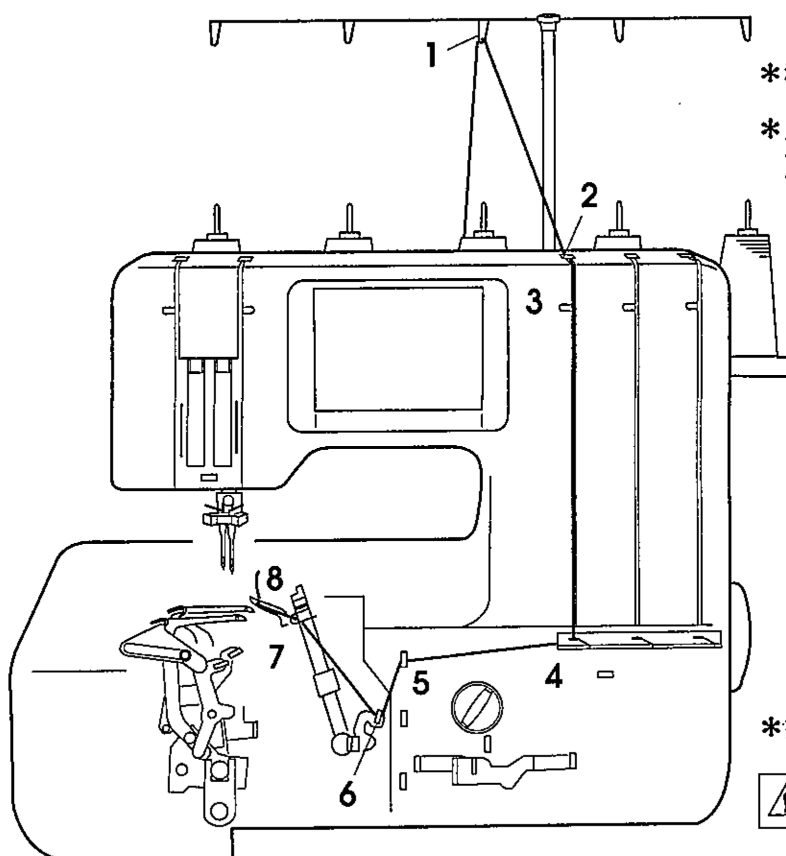
①下ルーパー

②普通の糸

③ウーリーナイロン糸など

＊上ルーパーにウーリーナイロン糸などを通すときも、同じです。

◆上ルーパー糸の通し方

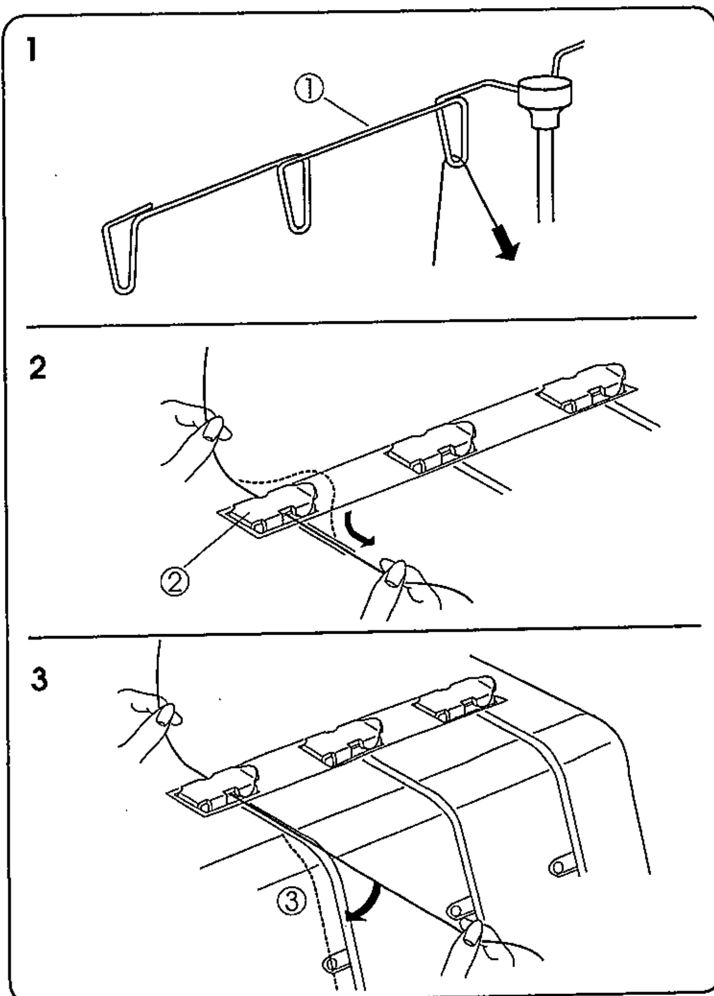


＊赤色のマークの糸道を通してください。

＊ルーパーカバーをあけます。
正面に糸道案内図があります。

＊押えをあげてください。

⚠電源スイッチを切ってください。



1. 糸立て台の左から3番目の糸立て棒に糸こまを立て、糸こまから引き出した糸を左から3番目の糸掛けに掛けます。

①糸掛け

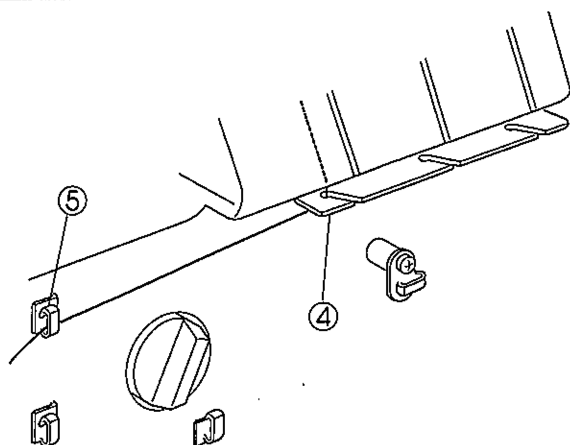
2. 左から3番目の天板糸案内に右から糸を通します。

②天板糸案内

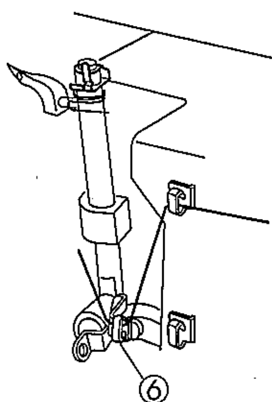
3. 糸の両はしを持ち、みぞにそって糸を引き、上ルーパー糸調子器にきちんと糸を通します。

③上ルーパー糸調子器
（カバーの中）

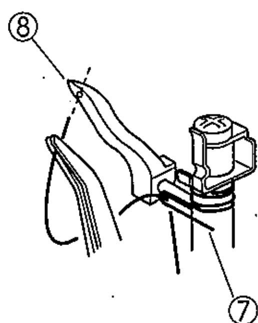
4, 5



6



7, 8



4. ルーパー糸案内の左側のみぞに糸を通します。

④ルーパー糸案内

5. 上ルーパー糸案内(1)に糸を通します。

⑤上ルーパー糸案内

6. ルーパー天びん(上)に糸を通します。

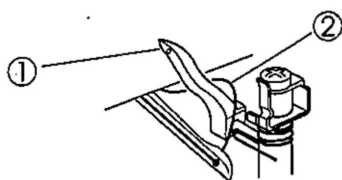
⑥ルーパー天びん(上)

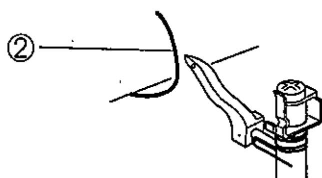
7. 上ルーパー糸案内(2)のフックに右から左へ糸を通します。

⑦上ルーパー糸案内(2)

8. 上ルーパーの糸穴にピンセットで糸を通し、糸はしは糸穴から10cmほど引き出しておきます。ルーパーカバーをしめます。

⑧上ルーパー

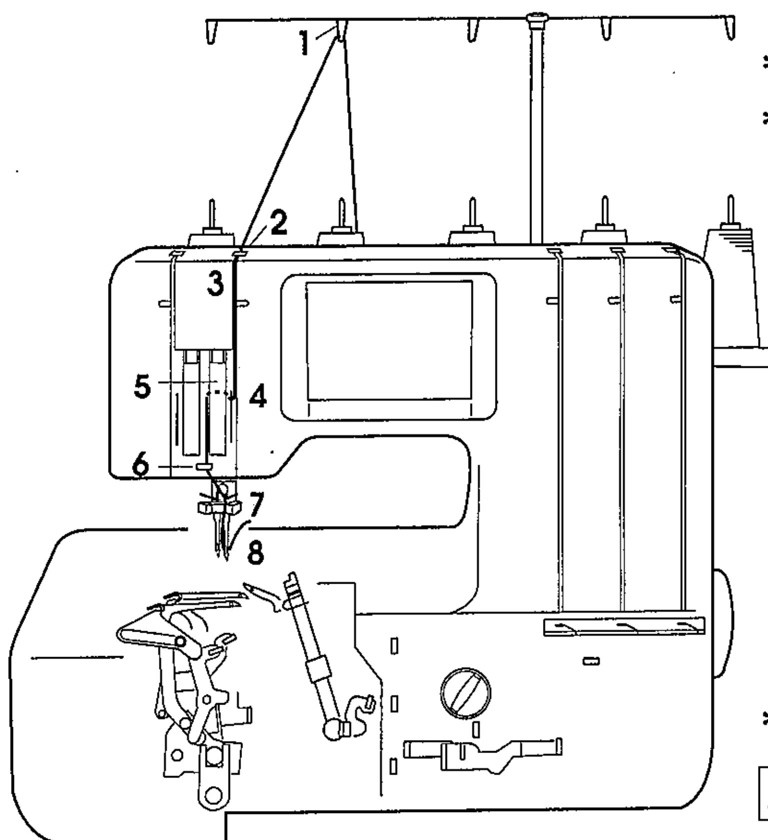




＊上ルーパーに糸を通すとき、上ルーパーに下ルーパー糸がかかっているときは、下ルーパー糸をはずして上ルーパー糸を通してください。

①上ルーパー
②下ルーパー糸

◆右針糸の通し方

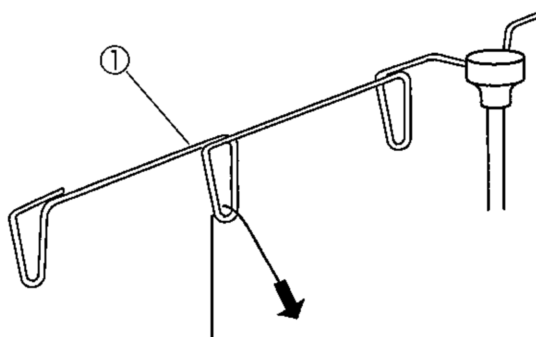


＊緑色のマークの糸道を通してください。

＊ルーパーカバーをあけます。
　正面に糸道案内図があります。

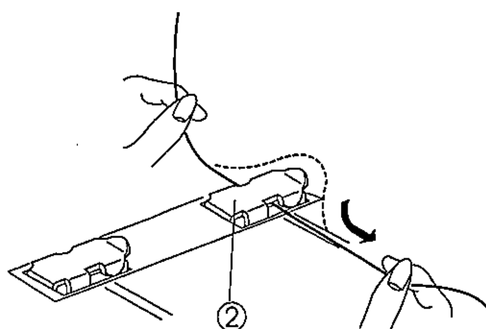
＊押えをあげてください。

⚠電源スイッチを切ってください。



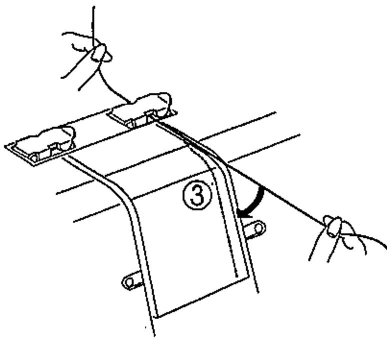
1. 糸立て台の左から2番目の糸立て棒に糸こまを立て、糸こまから引き出した糸を左から2番目の糸掛けにかけます。

①糸掛け



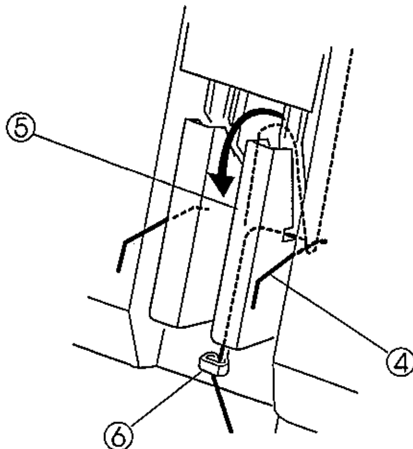
2. 左から2番目の天板糸案内に右から糸を通します。

②天板糸案内



3. 糸の両はしを持ち、みぞにそって糸を引き、右針糸調子器にきちんと糸を通します。

③右針糸調子器
（カバーの中）



4. 針を上にあげた位置で止め、糸をみぞにそって右針糸案内にかけたら引きあげます。

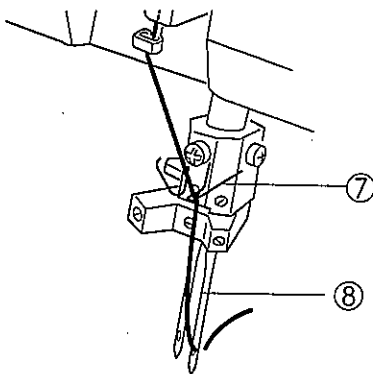
5. そのまま糸を右天びんカバーのみぞに入れて引きおろします。

6. 針糸案内に糸を通します。

④右針糸案内

⑤右天びんカバー

⑥針糸案内



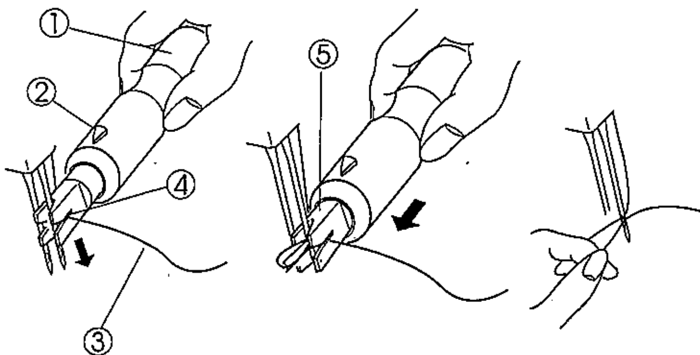
7. 右針糸は針棒糸掛け（右）にかけます。

8. 右針の針穴に糸を手前から通します。
糸は押えの下から向こう側へ10cmほど引き出しておきます。
ルーパーカバーをしめます。

⑦針棒糸掛け（右）

⑧右針

＊針糸通し器の使い方



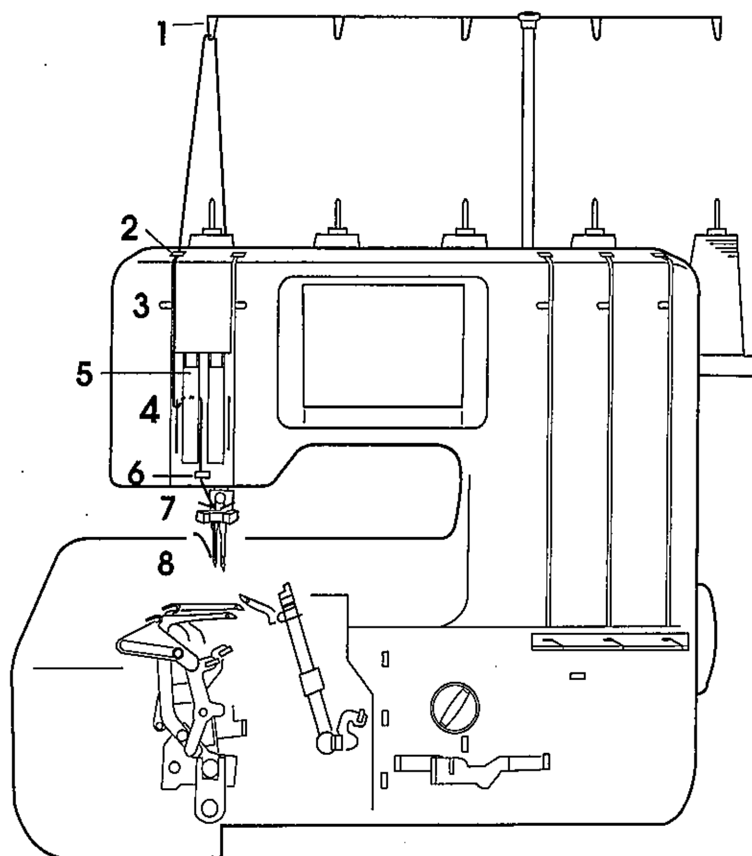
⚠ 電源スイッチを切ってください。

1. ホルダーの三角マークを上向きにして持ち、針糸を横向きのY字みぞに入れます。
2. ホルダーの三角マークを上向きにして、糸のはしを持ち、V字みぞを針の中ほどに軽く押し当てます。
3. 糸はしを持ったまま、ホルダーを針に軽く押し当てながら下にゆっくりとすべらせます。
4. 糸通しピンが針穴に入ったら、ホルダーをいっぱいに押して針糸を針穴に通します。
5. 糸輪が針穴の向こう側に出たら、ホルダーをゆっくりもどして、糸輪を後ろへ引き出します。

①ホルダー　②三角マーク　③針糸

④Y字みぞ　⑤V字みぞ

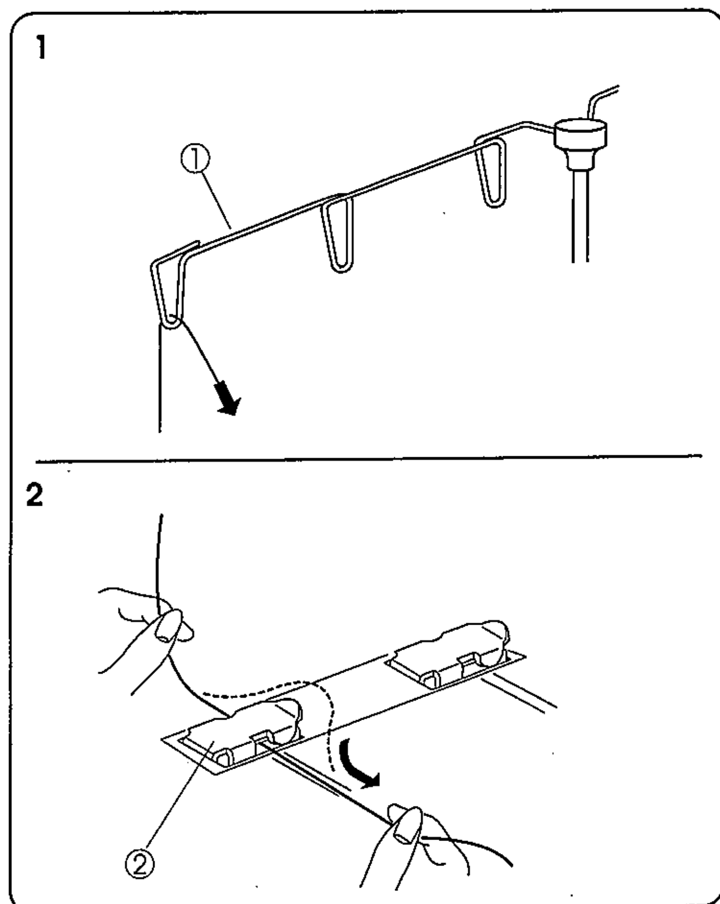
◆左針糸の通し方



＊黄色のマークの糸道を通してください。
＊ルーパーカバーをあけます。
正面に糸道案内図があります。

＊押えをあげてください。

⚠電源スイッチを切ってください。



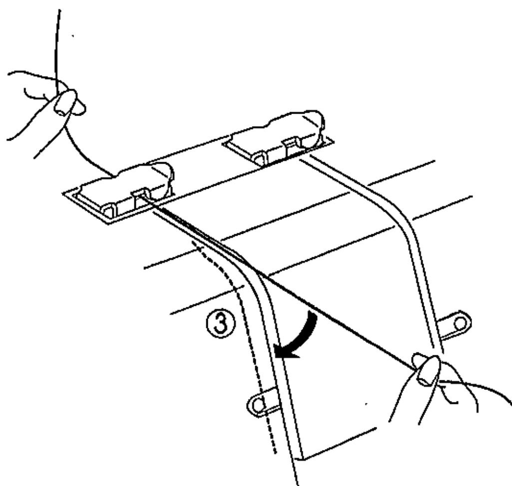
1. 糸立て台の1番左の糸立て棒に糸こまを立て、糸こまから引き出した糸を、1番左の糸掛けに掛けます。

①糸掛け

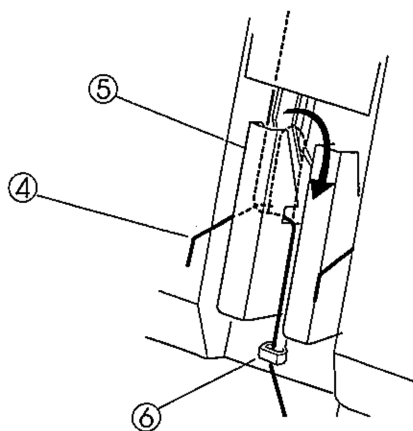
2. 1番左の天板糸案内に右から糸を通します。

②天板糸案内

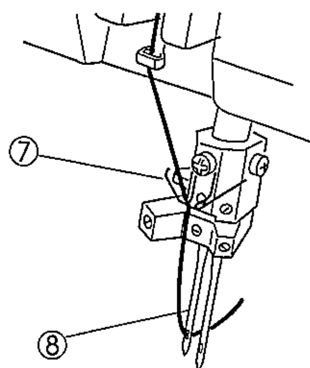
3



4, 5, 6



7, 8



3. 糸の両はしを持ち、みぞにそって糸を引き、左針糸調子器にきちんと糸を通します。

③左針糸調子器
（カバーの中）

4. 針を上にあげた位置で止め、糸をみぞにそって左針糸案内にかけたら引きあげます。

5. そのまま糸を左天びんカバーのみぞに入れて引きおろします。

6. 針糸案内に糸を通します。

④左針糸案内
⑤左天びんカバー
⑥針糸案内

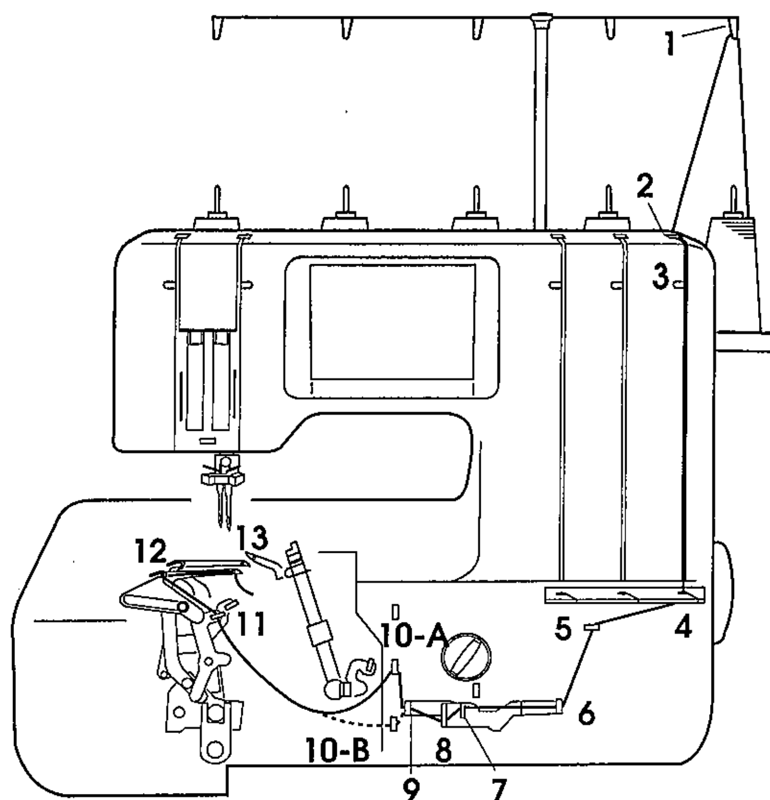
7. 左針糸は針棒糸掛け（左）にかけます。

8. 左針の針穴に糸を手前から通します。
糸は押えの下から向こう側へ10cmほど引き出しておきます。

ルーパーカバーをしめます。

⑦針棒糸掛け（左）
⑧左針

◆二重かんルーパー糸の通し方

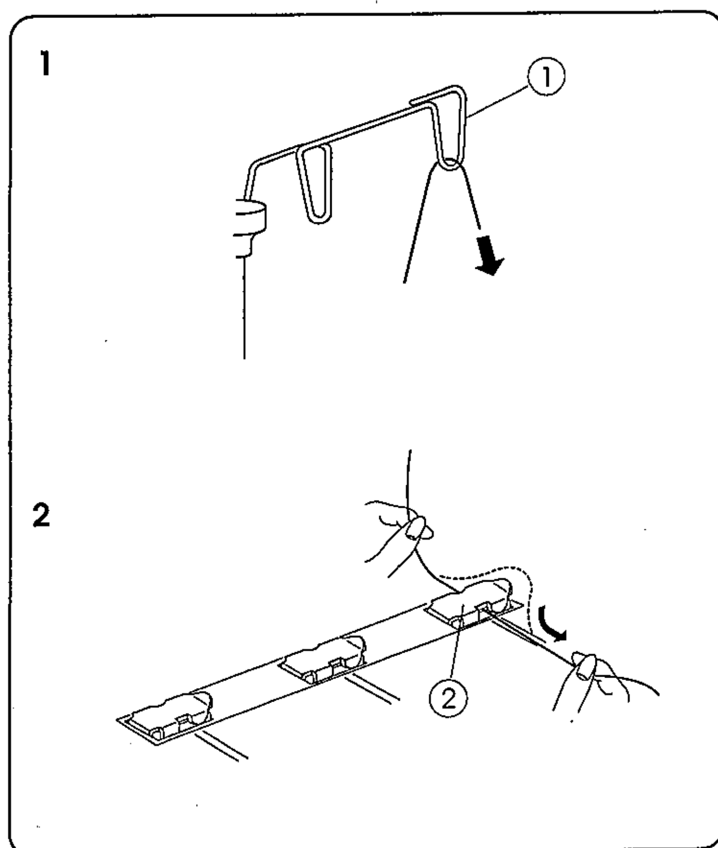


＊オレンジ色のマークの糸道を通してください。

＊ルーパーカバーをあけます。
正面に糸道案内図があります。

＊押えをあげてください。

⚠ 電源スイッチを切ってください。



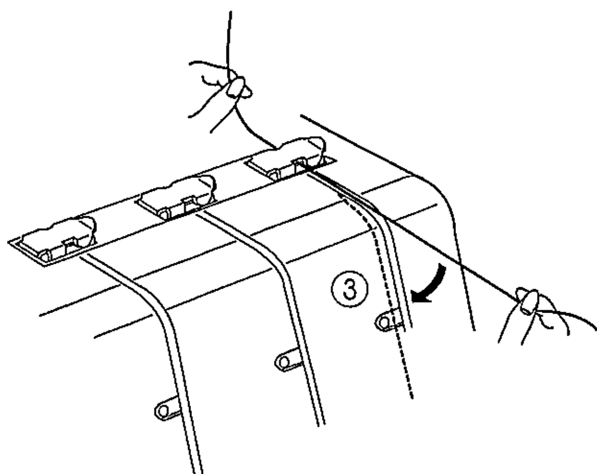
1. 糸立て台の1番右の糸立て棒に糸こまを立て、糸こまから引き出した糸を1番右の糸掛けに掛けます。

①糸掛け

2. 1番右の天板糸案内に右から糸を通します。

②天板糸案内

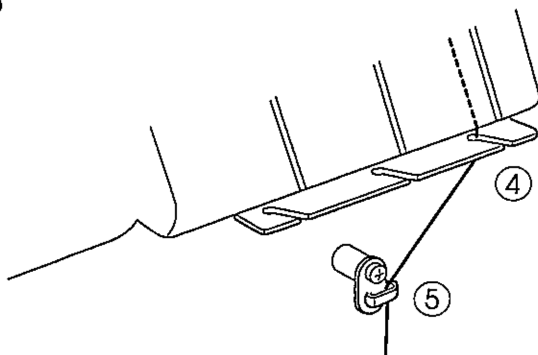
3



3. 糸の両はしを持ち、みぞにそって糸を引き、二重かんルーパー糸調子器にきちんと糸を通します。

③二重かんルーパー糸調子器
（カバーの中）

4, 5



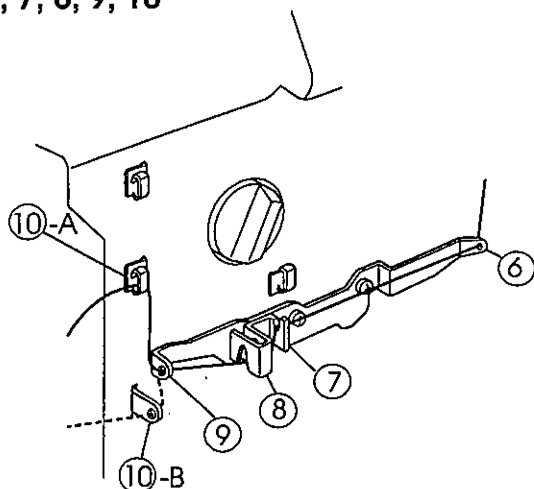
4. ルーパー糸案内の右側のみぞに糸を通します。

5. 二重かんルーパー糸案内(1)に糸を通します。

④ルーパー糸案内

⑤二重かんルーパー糸案内(1)

6, 7, 8, 9, 10



6, 7. 二重かん天びん糸案内(1), (2)に糸を通します。

8, 9. 糸取りばねカバーに下から糸をかけ、二重かん天びん糸案内(3)に糸を通します。

⑥二重かん天びん糸案内(1)

⑦二重かん天びん糸案内(2)

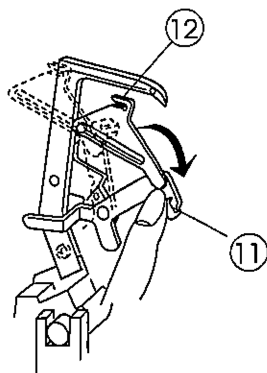
⑧糸取りばねカバー

⑨二重かん天びん糸案内(3)

10. 次の糸道は選んだ縫い目により異なります。
- 合わせかがり5, 二重かんぬいは下ルーパー糸案内(2)(⑩-A)に糸を通します。
- カバーステッチは二重かんルーパー糸案内(2)(⑩-B)に糸を通します。

⑩ーA：下ルーパー糸案内(2)
⑩ーB：二重環ルーパー糸案内(2)

11

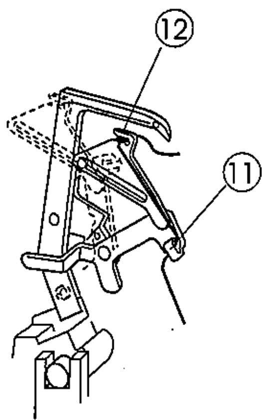


11. はずみ車を手前にまわして二重かんルーパーが右はし近くに来たところで止めます。
指で二重かんルーパー糸案内(3)を押しさげると、二重かんルーパー糸案内(4)が右側に出てきます。

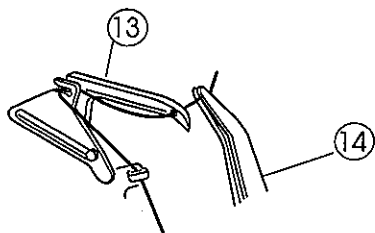
⑪二重かんルーパー糸案内(3)

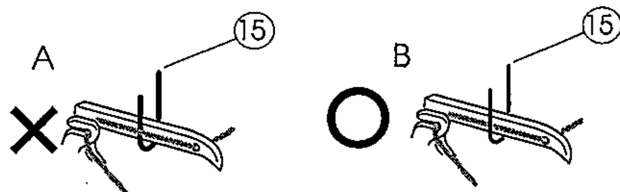
⑫二重かんルーパー糸案内(4)

12



13





12. 二重かんルーパー糸案内(3)，(4)に糸をかけます。

⑪二重かんルーパー糸案内(3)

⑫二重かんルーパー糸案内(4)

糸の先を持って、二重かんルーパー糸案内(3)を指で軽く持ちあげれば、二重かんルーパー糸案内(3)，(4)は元の位置にもどります。

＊二重かんルーパー糸案内(3)をもどしわすれても、はずみ車を手前にまわすと、二重かんルーパー糸案内(3)，(4)は自動的に元の位置にもどります。

13. はずみ車を手前にまわして、二重かんルーパーを右側いっぱいにします。二重かんルーパーの糸穴にピンセットで糸を通し、糸はしは糸穴から10cmほど引き出しておきます。

ルーパーカバーをしめます。

⑬二重かんルーパー

⑭ピンセット

⑮針糸

＊上図のAは針糸の上から二重かんルーパー糸が掛かっている不正な糸道で、Bが正しい状態です。
Aの状態でも、17ページのように、最後に押えの下で針糸を払えば、正しい糸道にととのえられます。

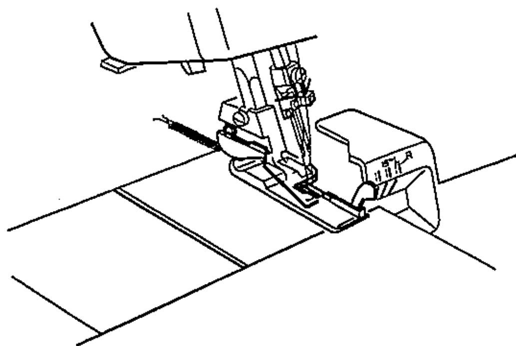
● ぬい目の種類

このミシンでは次の21種類のぬい目がぬえます。

1 合わせかがり4	2 ふちかがり3(普通幅)	3 ふちかがり3(広幅)	4 巻きぬい3	5 フラットロック3(普通幅)
(3)	(2)	(2)	(3)	(1)
6 フラットロック3(広幅)	7 フラットロック2(普通幅)	8 フラットロック2(広幅)	9 ふちかがり2(普通幅)	10 ふちかがり2(広幅)
(2)	(1)	(2)	(1)	(1)
11 カバーステッチ	12 合わせかがり3(普通幅)	13 合わせかがり3(広幅)	14 巻きぬい2	15 細ロック
(1)	(2)	(1)	(1)	(1)
16 つつみかがり3	17 合わせかがり5	18 ピコぬい	19 つつみかがり2(普通幅)	20 つつみかがり2(広幅)
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
21 二重かんぬい				
(1)				

＊各ぬい目の枠内の(　)の数字は、お好み記憶できる数を表わしています。
全部で30個の記憶ができます。

● 試しぬい

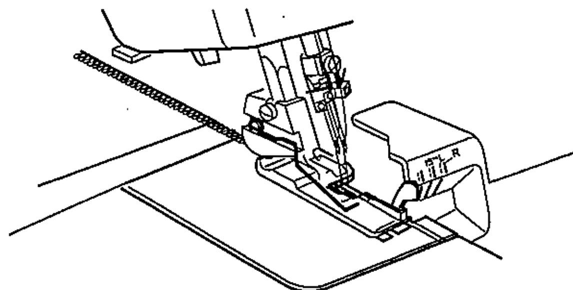


カバーステッチ、合わせかがり5、二重かんぬいについては35〜36ページに示します。ここではその他のぬい目についての一般的なぬい方です。

◆ ぬいはじめ

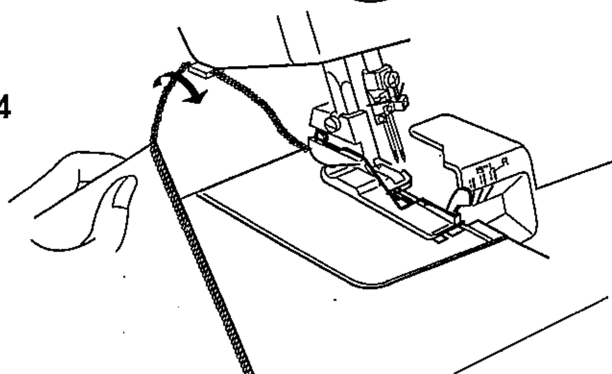
1. 糸を押えの下から向こう側へそろえて引き出し押えをさげます。
2. ゆっくりぬいはじめて、5〜6cmカラぬいをします。カラぬいした糸が編まれたように出てくるのを確かめたら、布をセットしてぬいはじめます。

＊押えはあげる必要はありません。押えの先端に布をさしこめば、布は送られますから、ぬいたい方向に布を案内するだけにしてください。



◆ ぬいおわり

3. 布端までぬいおわったら、そのままゆっくりと12〜13cmカラぬいをします。布を後ろへ軽く引きながらカラぬいをします。
4. カラぬいをした糸を布の端から5〜6cm残し、糸切りかはさみで切ります。



◆ つづけてぬうとき

押えをあげずに、次の布を押えの下にさしこむようにしてぬいます。

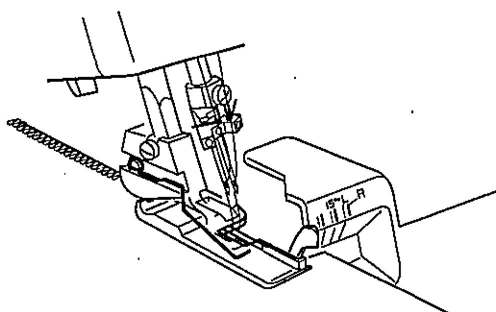
＊厚い布をぬうときは、押えをあげ、布を上メスの手前までさし入れ、押えをさげてぬいはじめます。

◆ ガイドラインの使い方

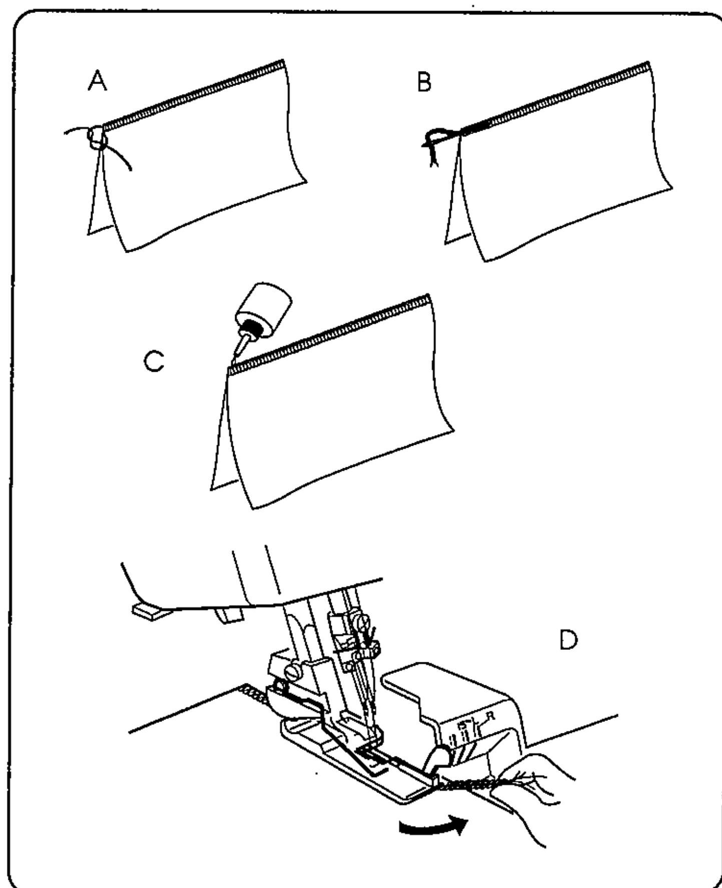
布案内A, Bには針落ちからの距離を示すガイドラインが表示されています。布端からぬい目までの目安としてお使いください。

・布案内A：目盛の実線(R)は右針、点線(L)は左針からの距離を表わし、中央は針落ちから15mmです。また、目盛の間隔はそれぞれ6mmです。

・布案内B：目盛はインチ単位とcm単位の両方で表示され、それぞれ左針からの距離を表わします。



◆ぬいはじめ、ぬいおわりの始末



ぬいはじめ、ぬいおわりの糸をそのままにしておくとほつれてしまいます。
ぬいはじめ、ぬいおわりの糸の始末にはいくつかの方法がありますので、お好みの方法をお選びください。

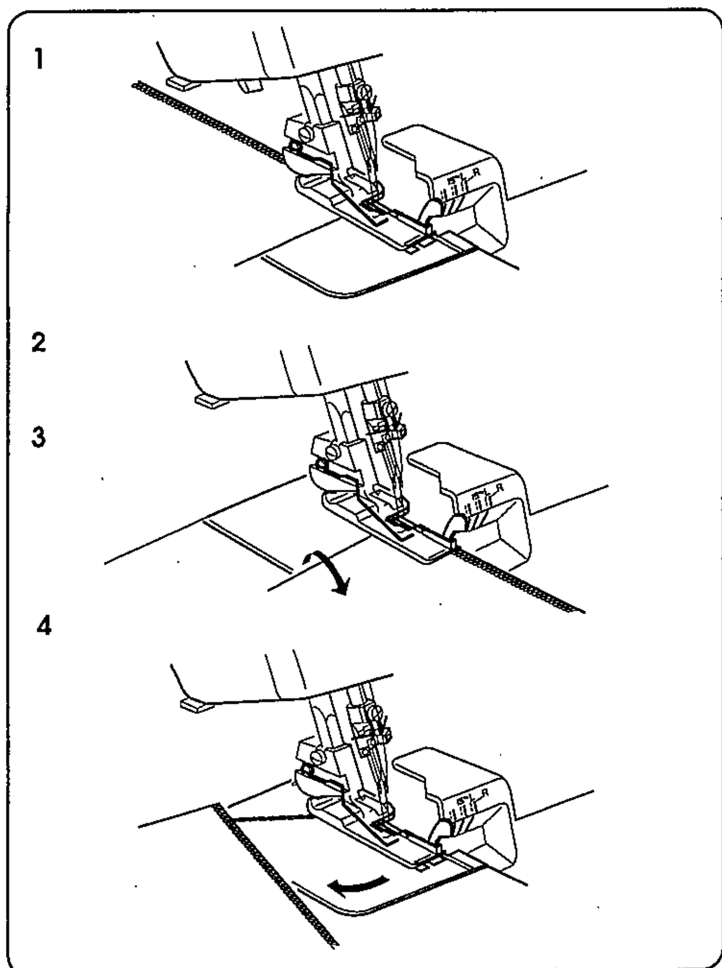
A.5cmほどカラぬいをほどき、その糸を使って布はしで結び目を作る方法。

B.カラぬい糸をトジ針に通して、ぬい目の中に入れる方法。

C.布はしのカラぬい糸の根元に手芸用ボンドを少し付け、乾いてから余分な糸を切り落とす方法。

D.ミシンでぬいはじめを始末する方法。
（合わせかがり、ふちかがりの場合）

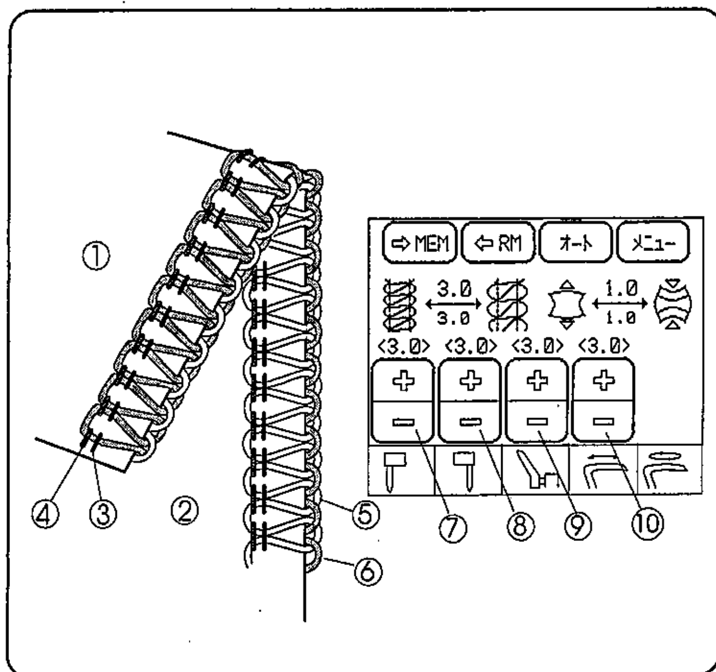
1. 布をセットする前にカラぬい糸を5cmほど出しておきます。
2. 布を押えにさしこんで2～3針ぬいます。
3. ミシンを止め、押えをあげます。
4. カラぬい糸を左から押えの下へ入れ、軽く手前に引きながら、押えをおろして布といっしょにぬいこみます。
5. 2～3cmぬったら、カラぬい糸を右に寄せてメスで切り落としながらぬいこみます。



・ミシンでぬいおわりを始末する方法。
（合わせかがり、ふちかがりの場合）

1. 布はしまでぬったら、1針だけ布の外に針を落とします。
2. 針と押えをあげ、布と糸をそっとかがり爪からはずして裏返します。
3. かがり幅を合わせて針を布に落とし、押えをおろします。
4. 今までぬった所にメスが当たらない様にして2～3cmぬいながら、横方向に布をはずしていきます。

● 糸調子のとり方

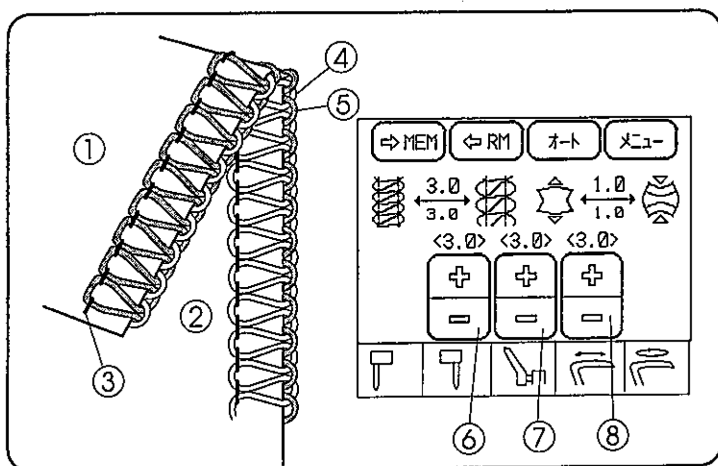


①布裏　②布表　③右針糸　④左針糸　⑤上ルーパー糸　⑥下ルーパー糸
⑦左針糸調子キー　⑧右針糸調子キー　⑨上ルーパー糸調子キー　⑩下ルーパー糸調子キー

糸調子は布の種類や糸の種類・太さによって調節が変わる場合があります。
まず、はじめにぬいセット画面で試しぬいをしてください。
お好みのぬい調子に調節したいときには、マニュアル糸調子画面で調節をします。
いくつかのぬい目で説明します。

◆ 合わせかがり4

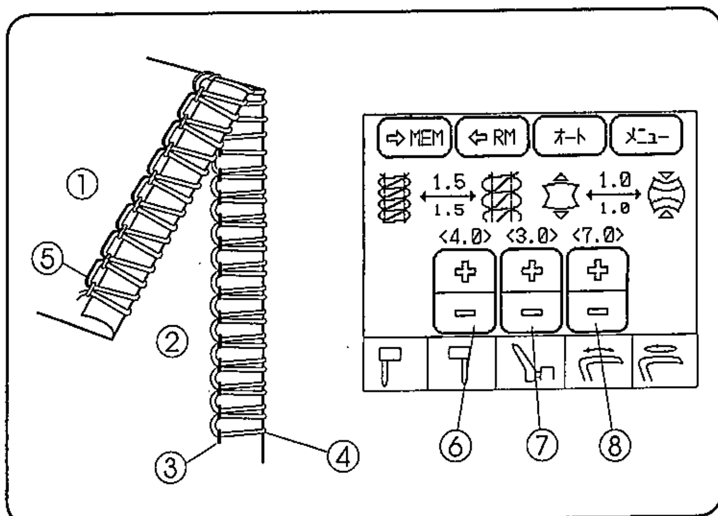
左図は適正な糸調子のぬい目を示しています。
お好みで、たとえば左針糸調子を強くしたいときは、左針糸調子の[＋]キーを押して強めます。
弱めたいときは[－]キーを押して弱めます。



◆ 合わせかがり3、ふちかがり3
（共に普通幅の例）

左図は適正な糸調子のぬい目を示しています。
お好みで、たとえば下ルーパー糸調子を弱くしたいときは、下ルーパー糸調子の[－]キーを押して弱めます。

①布裏　②布表　③右針糸　④上ルーパー糸
⑤下ルーパー糸　⑥右針糸調子キー
⑦上ルーパー糸調子キー　⑧下ルーパー糸調子キー



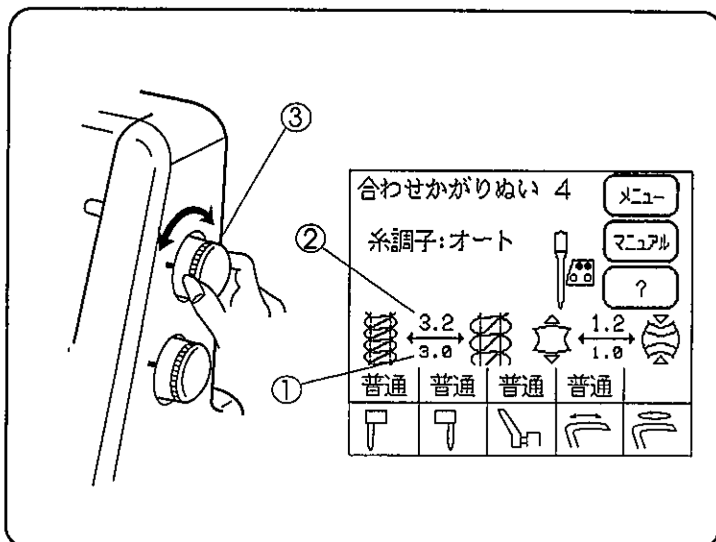
◆ 巻きぬい3

左図は適正な糸調子のぬい目を示しています。
お好みで、たとえば下ルーパー糸調子を強くしたいときは、下ルーパー糸調子の[＋]キーを押して強めます。

①布裏　②布表　③右針糸　④上ルーパー糸
⑤下ルーパー糸　⑥右針糸調子キー
⑦上ルーパー糸調子キー　⑧下ルーパー糸調子キー

＊その他のぬい目も同様にしてお好みに合わせて調節してください。

● ぬい目あらさの調節

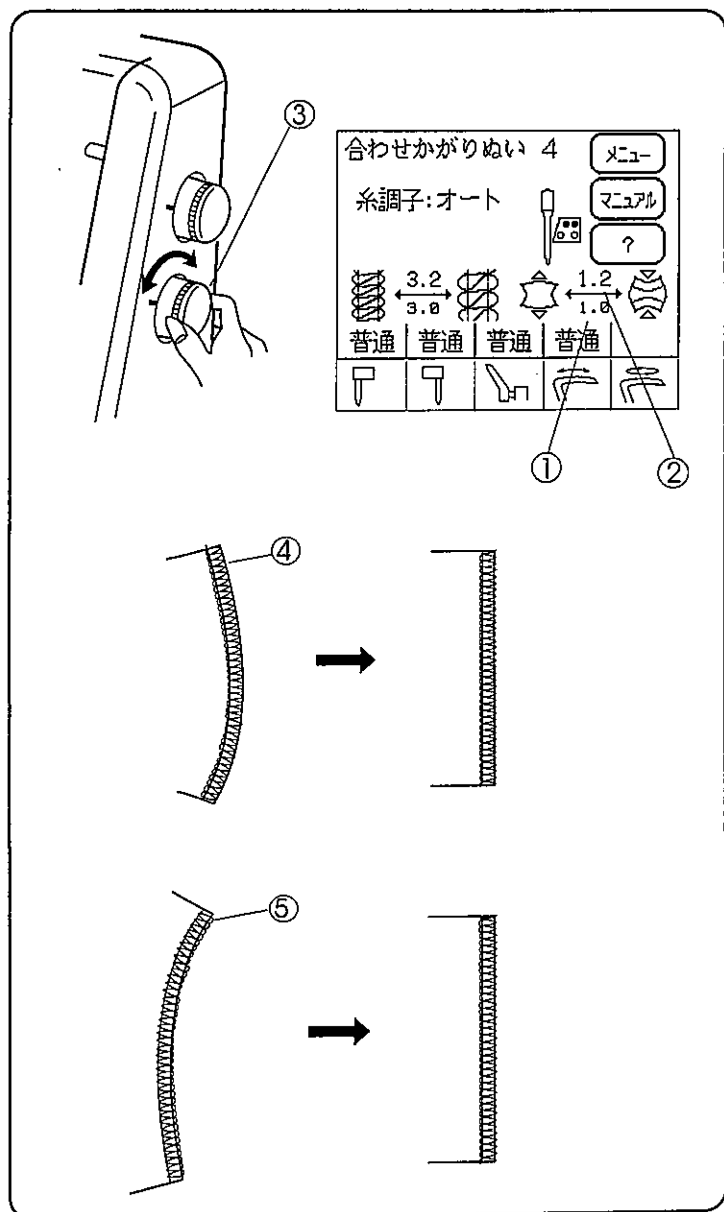


ぬい目あらさダイヤルをまわして、タッチパネルに表示される目盛をお好みの量に合わせます。

＊ぬい目あらさは1mmから5mmまで調節できます。

①ぬい目あらさの推しょう値
②ぬい目あらさの現在のダイヤルセット値
③ぬい目あらさダイヤル

● 伸縮送りの調節



伸縮送りダイヤルをまわして、タッチパネルに表示される目盛をお好みの量に合わせます。

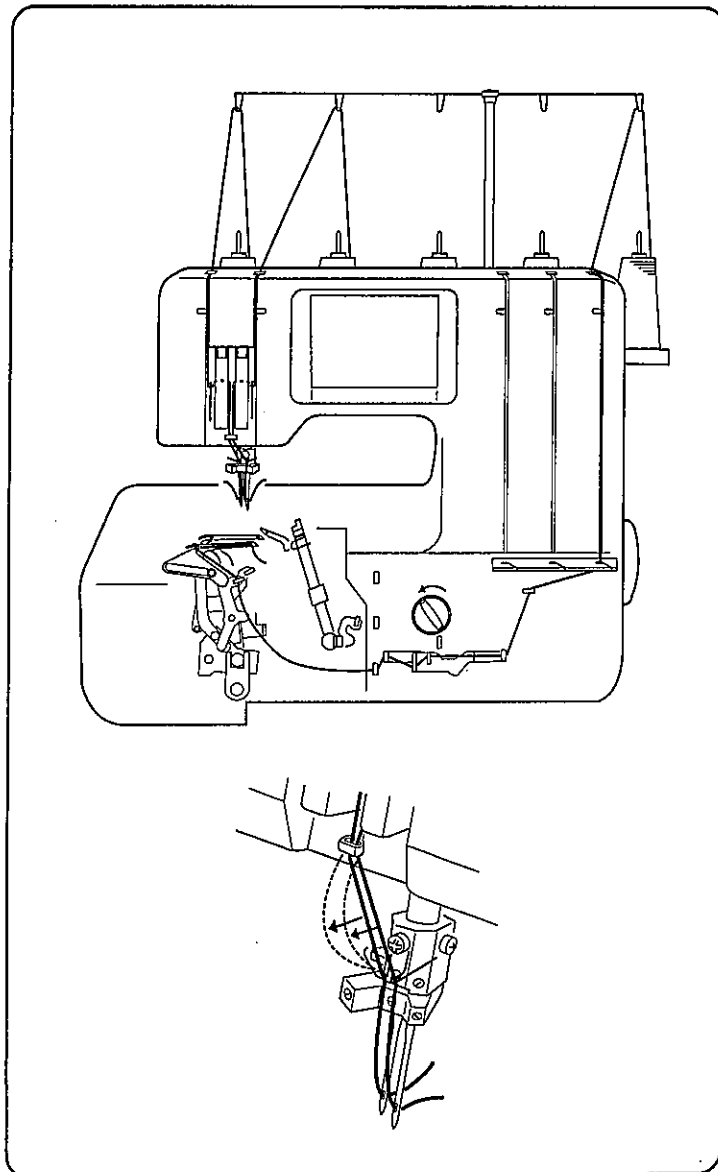
＊目盛1.0は、伸縮送りのかかっていない標準状態で、0.5から2.2まで調節できます。

・ぬい伸びする布は…
伸縮送りダイヤルを手前にまわして、目盛を1.0より大きめに調節します。

・ぬい縮みする布は…
伸縮送りダイヤルを向こう側にまわして目盛を1.0より小さめに調節します。

①伸縮送りの推しょう値
②伸縮送りの現在のダイヤルセット値
③伸縮送りダイヤル
④ぬい伸びする布
⑤ぬい縮みする布

● カバーステッチなどのぬい方



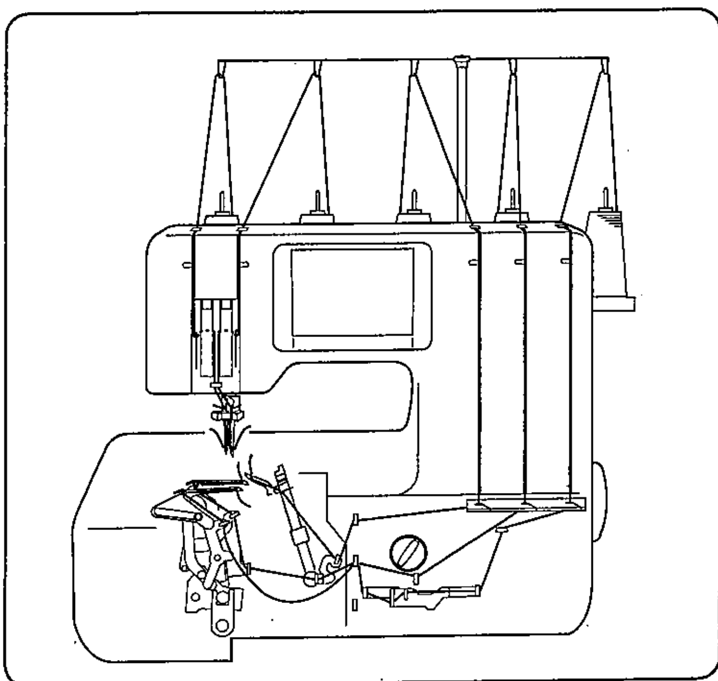
二重かんルーパー糸を使うぬい目は次のようにぬいます。

◆ カバーステッチ

＊カバーステッチはカラかんを出さずに、ぬいはじめもぬいおわりも布のあるところで行なってください。

⚠ 電源スイッチを切ってください。

1. 二重かんルーパー糸、右針糸、左針糸の順に糸を通します。
2. 二重かんルーパー糸は二重かんルーパーの糸穴から10cmほど下に引き出しておきます。
   針糸は押えの下から向こう側へ10cmほど引き出しておきます。
3. 押えをあげて、布をぬいはじめる位置まで入れ、押えをおろします。
4. 電源スイッチを入れ、カバーステッチを選んで、ぬいはじめます。
5. ぬいおわりは、布のあるところでミシンを止め、針を上いっぱいにあげます。
6. 押えをあげ、針糸を左図のように指で引き出してゆるめてから、押えの下の針糸をピンセットで10cmほど引き出して、布の近くで切ります。
7. 布を後ろへ引き出し、二重かんルーパー糸を切ります。

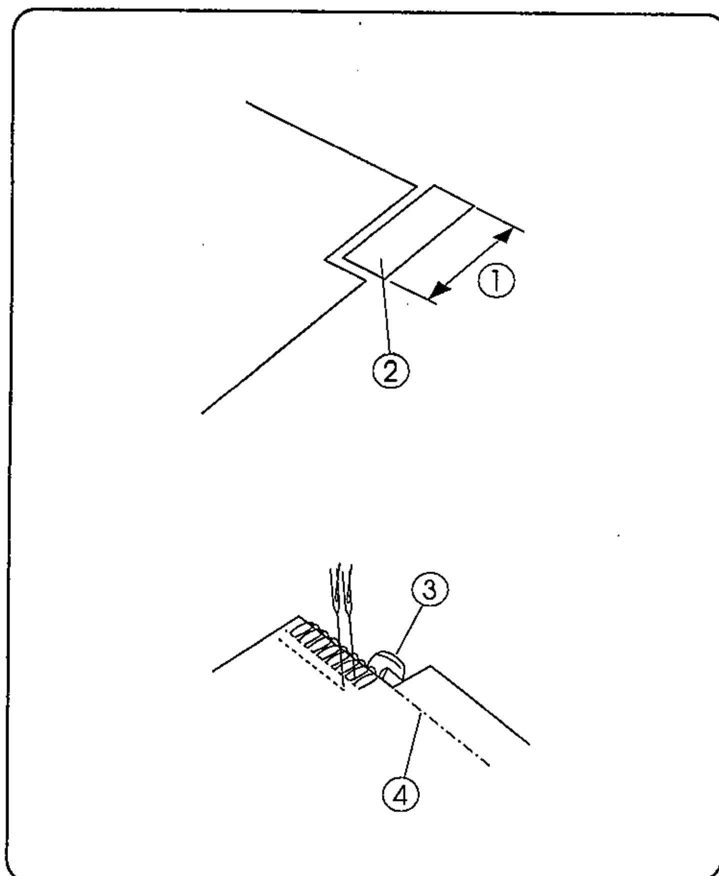


◆ 合わせかがり5

＊二重かんルーパー糸は針板上に引きあげてからぬいはじめます。

⚠ 電源スイッチを切ってください。

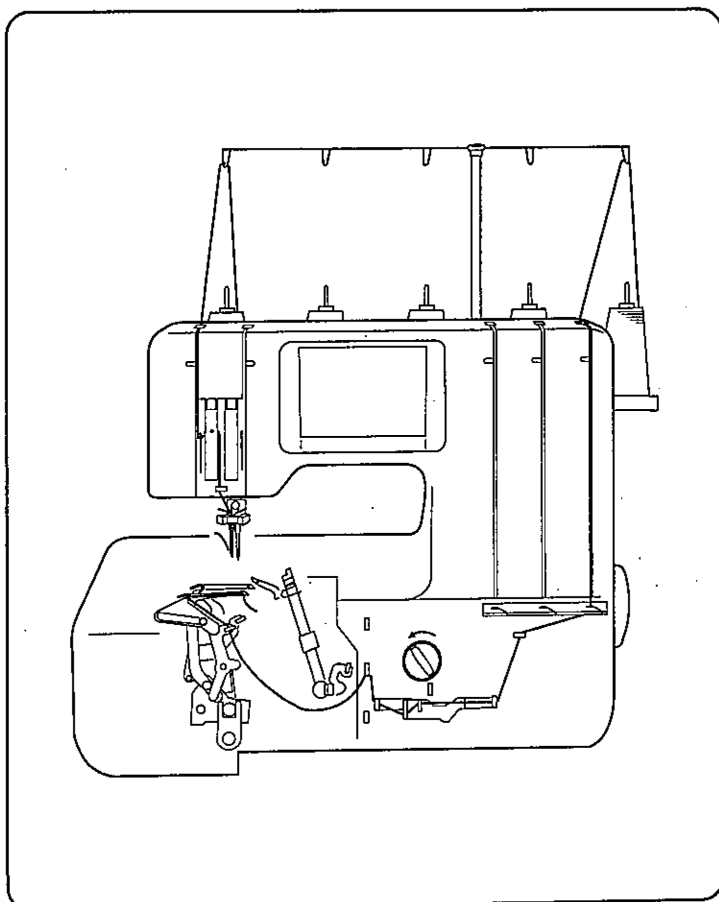
1. 下ルーパー糸、上ルーパー糸、二重かんルーパー糸、左針糸の順に糸を通します。
2. 針の下に試しぬいの布を置いて、押えをおろします。
3. はずみ車を手前にまわして2～3針ぬい、押えをあげて布を引き出すと、二重かんルーパー糸が針板の針穴から引きあげられます。
4. 布をはずして、右針糸を通し、他の糸といっしょに押えの下から向こう側へ10cmほど引き出しておきます。



5. 図の様にメスで布はしを切る幅で3cmほど布のぬいはじめを切りとります。
6. 切りとった布先を針の下までさしこみ、切りとった側面をメスの切りこみ位置に合わせて、押えをおろします。
7. はずみ車を手前にまわして2〜3針ぬいます。
8. 電源スイッチを入れて、コントローラーでぬいはじめます。
9. 布はしまでぬい、糸を引き出して終了です。

*合わせかがり5を一度ぬいおわれば、カラかんができていますから、次の布のぬいはじめは角を切らずに、そのまま合わせかがり5をぬいはじめることができます。

①3cm(切りこみ長さ)　②切りとり片　③上メス　④切りこみ線



◆ **二重かんぬい**

*二重かんルーパー糸は針板上に引きあげてからぬいはじめます。

⚠ 電源スイッチを切ってください。

1. 二重かんルーパー糸を通して、二重かんルーパーから10cmほど下へ引き出しておきます。
2. 左針糸を通して、押えの下から向こう側へ10cmほど引き出しておきます。
3. 針の下に試しぬいの布を置いて、押えをおろします。
4. はずみ車を手前にまわして2〜3針ぬい、押えをあげて布を引き出すと、二重かんルーパー糸が針板の針穴から引きあげられます。
5. 布をはずして、2本の糸を押えの下から向こう側へ10cmほど引き出し、押えをおろします。
6. 電源スイッチを入れて、ぬいはじめます。
7. 布はしまでぬい、糸を引き出して終了です。

● ぬいセット画面の標準仕様

21種類のぬい目の各ぬいセット画面での糸調子は、下の表に示す糸の種類、布の種類、布の枚数、ぬい目あらさ、伸縮送りに合わせて設定したものです。ぬい作業の目安にしてください。

＊糸の種類
普通糸：ポリエステルスパン糸＃60
細い糸：ポリエステルスパン糸＃90
ウーリー糸：ウーリーナイロン糸(210/50)
かざり糸：アクリルかざり糸
※1細い糸：巻きロックミシン糸

	ぬい目	糸の種類					布の種類	布の枚数	ぬい目あらさ	伸縮送り
		左針	右針	上ルーパー	下ルーパー	二重かんルーパー				
1	合わせかがり4	普通	普通	普通	普通	—	おり布(中厚物)	2	3.0	1.0
2	ふちかがり3(普通幅)	—	細い	細い	細い	—	おり布(中厚物)	1	3.0	1.0
3	ふちかがり3(広幅)	普通	—	普通	普通	—	おり布(中厚物)	1	3.0	1.0
4	巻きぬい3	—	※1細い	ウーリー	ウーリー	—	おり布(うす物)	1	1.5	1.0
5	フラットロック3(普通幅)	—	細い	かざり	細い	—	おり布(中厚物)	1	3.4	1.0
6	フラットロック3(広幅)	細い	—	かざり	細い	—	おり布(中厚物)	1	3.4	1.0
7	フラットロック2(普通幅)	—	細い		かざり	—	おり布(中厚物)	1	3.4	1.0
8	フラットロック2(広幅)	細い	—		かざり	—	おり布(中厚物)	1	3.4	1.0
9	ふちかがり2(普通幅)	—	細い		細い	—	おり布(中厚物)	1	3.0	1.0
10	ふちかがり2(広幅)	普通	—		普通	—	おり布(中厚物)	1	3.0	1.0
11	カバーステッチ	普通	普通	—	—	普通	ニット(中厚物)	1	3.0	1.0
12	合わせかがり3(普通幅)	—	普通	普通	普通	—	おり布(中厚物)	2	3.0	1.0
13	合わせかがり3(広幅)	普通	—	普通	普通	—	おり布(中厚物)	2	3.0	1.0
14	巻きぬい2	—	※1細い		ウーリー	—	おり布(うす物)	1	1.5	1.0
15	細ロック	—	※1細い	ウーリー	ウーリー	—	おり布(うす物)	1	1.5	1.0
16	つつみかがり3	普通	普通		普通	—	おり布(中厚物)	2	3.0	1.0
17	合わせかがり5	普通	普通	普通	普通	普通	おり布(中厚物)	2	3.0	1.0
18	ピコぬい	—	※1細い	普通	普通	—	おり布(うす厚物)	1	3.4	1.0
19	つつみかがり2(普通幅)	—	普通		かざり	—	おり布(中厚物)	2	3.0	1.0
20	つつみかがり2(広幅)	普通	—		かざり	—	おり布(厚物)	2	3.0	1.0
21	二重かんぬい	普通	—	—	—	普通	おり布(中厚物)	2	3.0	1.0

この絵はスプレッダーを使用することを表わしています。

＊針はHA×1SPの14番または11番をお使いください。

＊使用する針の番手は標準的には14番ですが、うすい布をぬうときには11番をお使いください。

＊この表に示した糸以外のものをお使いの場合、適正なぬい上がりを保証できないこともありますのでご了承ください。

● ぬい目とミシンのセット

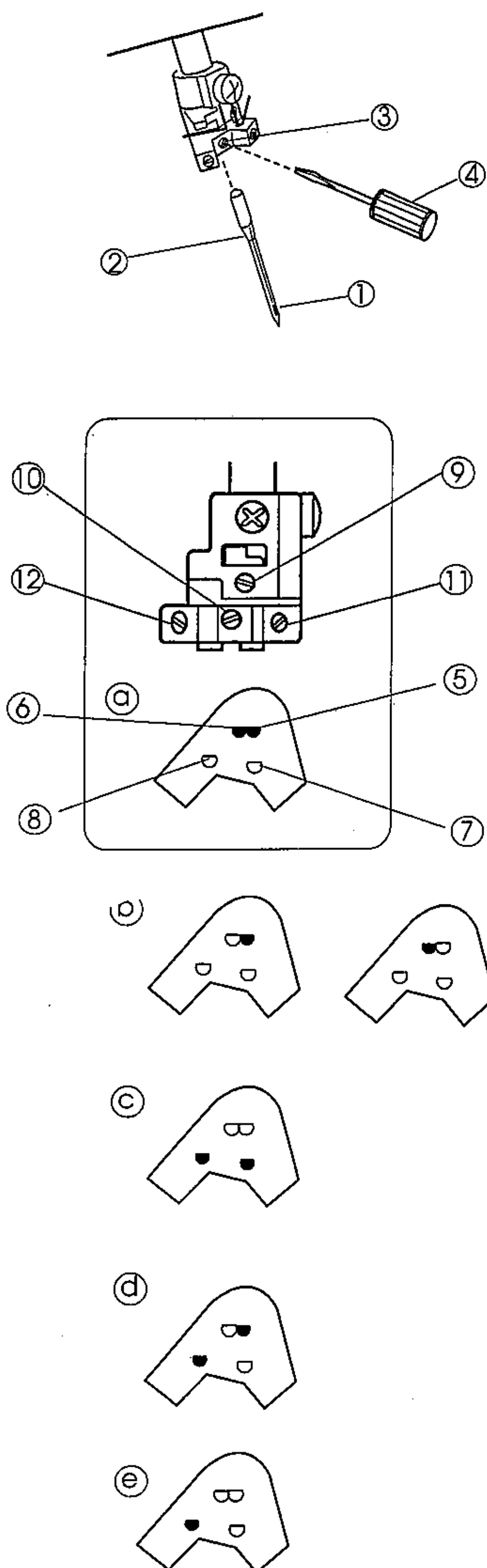
各ぬい目のセット条件を一覧表にしましたので、ご利用ください。

＊各ぬい目ごとに［？］キーを押して確認できる項目は、次の4つです。
・針のとりつけ位置　・押えの種類　・かがり爪の位置　・布案内の種類

	ぬい目	針のとりつけ位置	針板	押え	かがり爪	布案内	スプレッダー	上メスのセット	上ルーパーのセット
1	合わせかがり4	LB, RB	A	A	S	A	—	駆動	駆動
2	ふちかがり3(普通幅)	RB	A	A	S	A	—	駆動	駆動
3	ふちかがり3(広幅)	LB	A	A	S	A	—	駆動	駆動
4	巻きぬい3	RB	A	A	R	A	—	駆動	駆動
5	フラットロック3(普通幅)	RB	A	A	S	A	—	解除	駆動
6	フラットロック3(広幅)	LB	A	A	S	A	—	解除	駆動
7	フラットロック2(普通幅)	RB	A	A	S	A	使用	解除	駆動
8	フラットロック2(広幅)	LB	A	A	S	A	使用	解除	駆動
9	ふちかがり2(普通幅)	RB	A	A	S	A	使用	駆動	駆動
10	ふちかがり2(広幅)	LB	A	A	S	A	使用	駆動	駆動
11	カバーステッチ	LF, RF	B	B	R	B	—	解除	停止
12	合わせかがり3(普通幅)	RB	A	A	S	A	—	駆動	駆動
13	合わせかがり3(広幅)	LB	A	A	S	A	—	駆動	駆動
14	巻きぬい2	RB	A	A	R	A	使用	駆動	駆動
15	細ロック	RB	A	A	R	A	—	駆動	駆動
16	つつみかがり3	LB, RB	A	A	S	A	使用	駆動	駆動
17	合わせかがり5	LF, RB	A	A	S	A	—	駆動	駆動
18	ピコぬい	RB	A	A	R	A	—	駆動	駆動
19	つつみかがり2(普通幅)	RB	A	A	S	A	使用	駆動	駆動
20	つつみかがり2(広幅)	LB	A	A	S	A	使用	駆動	駆動
21	二重かんぬい	LF	B	B	R	B	—	解除	停止

＊針はHA×1SPの14番または11番をお使いください。

● 針の交換



＊針はHA×1SPの14番または11番をお使いください。

⚠ 電源スイッチを切ってください。

◆ はずし方

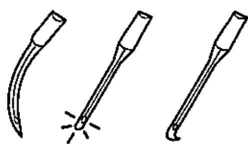
はずみ車をまわして針をあげ、針止めねじをゆるめて、針をはずします。このとき、針が落ちないように指でつかんでおきます。
ゆるめた針止めねじはかるくしめこんでおきます。

◆ つけ方

針の平らな面を向こう側に向けて、針止めにあたるまでさしこみます。
そして、その針止めねじをかたくしめます。

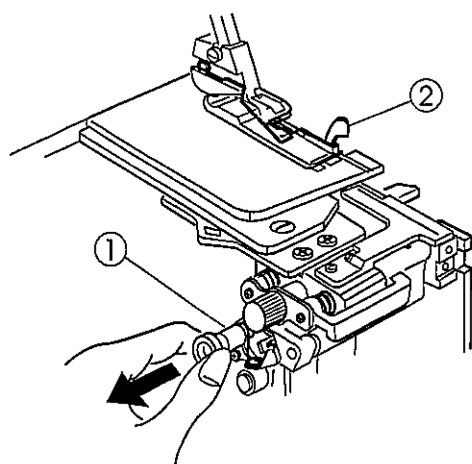
①針
②とりつけ平面
③針止めねじ(4本)
④ドライバー
⑤～⑧針のとりつけ穴
　⑤RB(後ろ側右)
　⑥LB(後ろ側左)
　⑦RF(前側右)
　⑧LF(前側左)
⑨～⑫針止めねじ
　⑨RB用針止めねじ
　⑩LB用針止めねじ
　⑪RF用針止めねじ
　⑫LF用針止めねじ

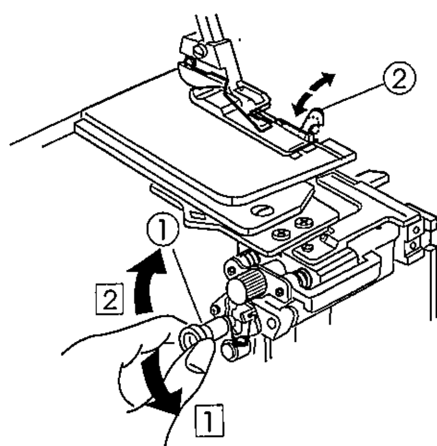
針のとりつけ位置はぬい目により図のようになります。
ⓐ合わせかがり4、つつみかがり3
ⓑ2本糸ぬいまたは3本糸ぬい
ⓒカバーステッチ
ⓓ合わせかがり5
ⓔ二重かんぬい



⚠ 全体にまがった針や、針先のまがったり、つぶれた針は、使用しないでください。

● 上メスの解除ともどし方





上メスは駆動と解除を上メスつまみで切り替えられます。ぬい目の種類に合わせて切り替えてください。詳細は38ページのぬい目とミシンのセットを参照ください。

⚠ 電源スイッチを切ってください。

1 解除のし方

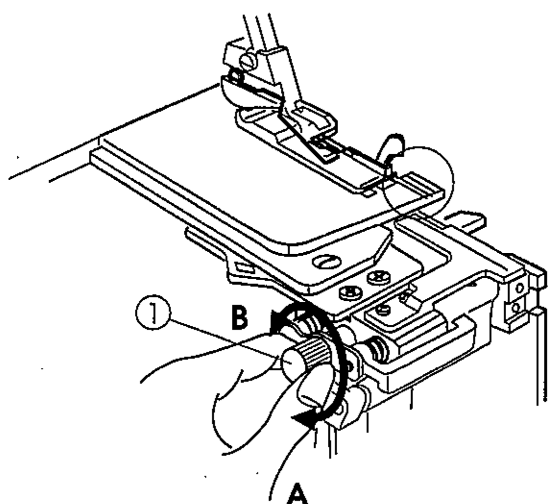
1. ルーパーカバーと布板をひらきます。
2. 上メスつまみを引きながら、案内みぞにそってストッパーに当たるまで押しさげます。
3. はずみ車をまわして、上メスの解除を確認します。
4. ルーパーカバーと布板をしめます。

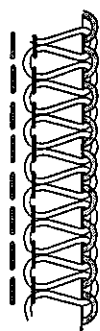
2 もどし方

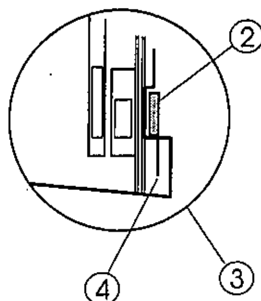
1. ルーパーカバーと布板をひらきます。
2. 上メスつまみを引きながら、案内みぞにそってストッパーに当たるまで押しあげます。
3. はずみ車をまわして、上メスの動きを確認します。
4. ルーパーカバーと布板をしめます。

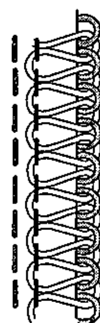
①上メスつまみ
②上メス

● 切り幅の調節

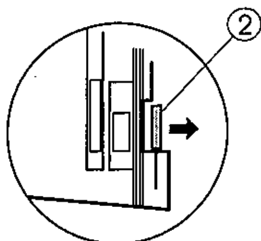


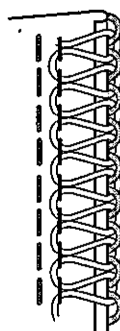




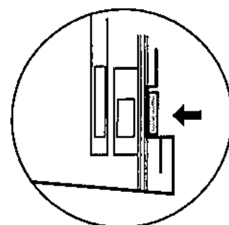












布はしとぬい目が合っていないときは、切り幅を調節します。

⚠ 電源スイッチを切ってください。

1. ルーパーカバーと布板をひらきます。
2. 切り幅調節ダイヤルをまわして、布はしとぬい目を合わせます。

1 A方向にまわすと切り幅が広くなります。
2 B方向にまわすと切り幅が狭くなります。

3. ルーパーカバーと布板をしめます。
4. 試しぬいをして、切り幅を確認します。

①切り幅調節ダイヤル
②下メス
③標準位置
　下メスの右側面が針板のガイドラインと一致する位置
④ガイドライン

● かがり爪位置の切り替え

かがり爪位置はSとRがあり、ぬい目の種類に合わせて切り替えます。
詳細は38ページのぬい目とミシンのセットを参照ください。

・巻きぬいやカバーステッチなど下記のぬい目以外のときはS側

・巻きぬい3、巻きぬい2、細ロック、ピコぬい、カバーステッチ、二重かんぬいのときはR側

◆ 切り替え方

⚠ 電源スイッチを切ってください。

1. ルーパーカバーと布板をひらきます。
2. 切り幅調節ダイヤルを右いっぱいに寄せながら、かがり爪つまみをS側またはR側へ移動します。
3. 切り幅調節ダイヤルは手をそっとはなせば、元にもどります。
4. ルーパーカバーと布板をしめます。

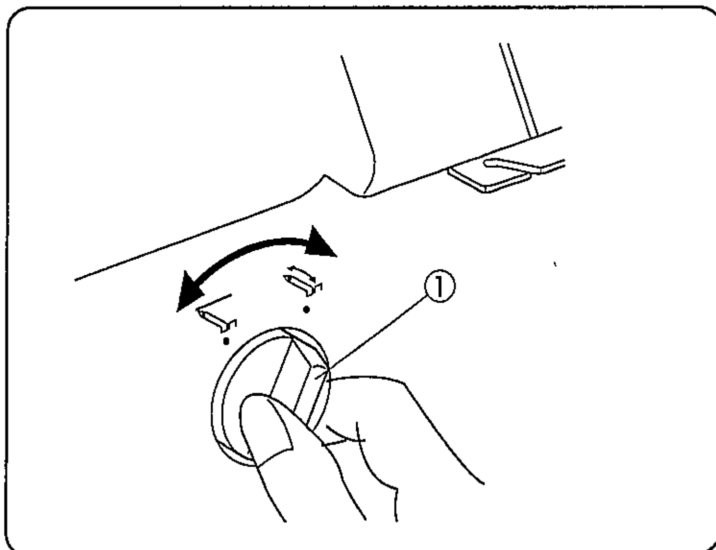
A

B

①かがり爪
②指示線S
③切り幅調節ダイヤル
④かがり爪つまみ
⑤指示線R

＊針板の交換時は必ずかがり爪をR位置にして行ないます。

● 上ルーパーの切り替え



①上ルーパー切替えダイヤル

上ルーパーは駆動と停止を切替えダイヤルで切り替えられます。
ぬい目の種類に合わせて切り替えてください。
詳細は38ページのぬい目とミシンのセットを参照ください。

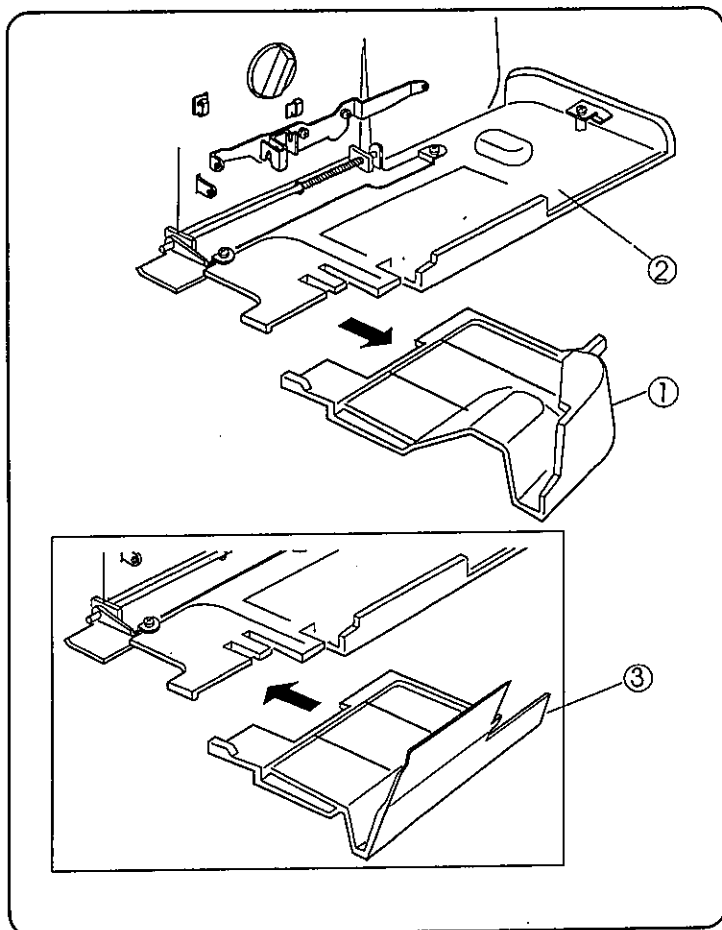
・上ルーパー駆動：カバーステッチ、二重かんぬい以外のすべてのぬい目
・上ルーパー停止：カバーステッチ、二重かんぬい

◆切り替え方

⚠電源スイッチを切ってください。

1. ルーパーカバーをひらきます。
2. 上ルーパー切替えダイヤルを右へ合わせると、上ルーパーは駆動します。
   上ルーパー切替えダイヤルを左へ合わせると、上ルーパーは停止します。
3. ルーパーカバーをしめます。

● 布案内の交換



布案内はAとBがあり、それぞれぬい目の種類に合わせて使い分けます。
詳細は38ページのぬい目とミシンのセットを参照ください。

・布案内A：カバーステッチ、二重かんぬい以外のすべてのぬい目
・布案内B：カバーステッチ、二重かんぬい

◆とりかえ方(AからBにとりかえる場合)

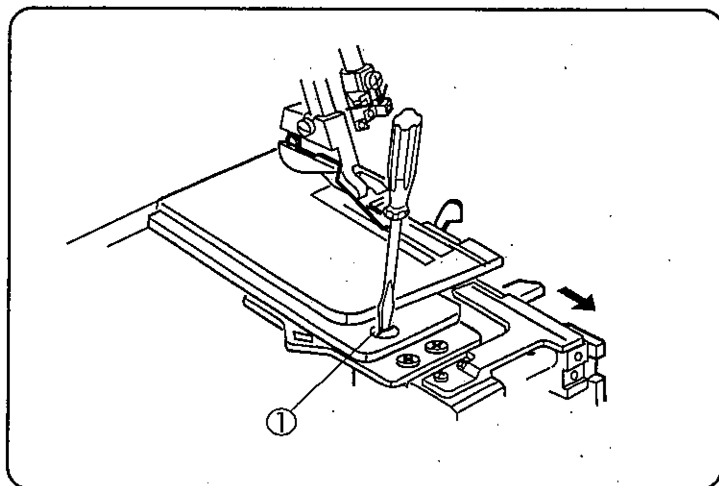
⚠電源スイッチを切ってください。

1. ルーパーカバーをひらきます。
2. 布案内Aをルーパーカバーから引き抜きます。
3. 布案内Bをルーパーカバーに差しこみます。

＊布案内BからAにとりかえる場合も、同じように抜き差しして行ないます。

①布案内A
②ルーパーカバー
③布案内B

● 針板のはずし方、つけ方



①針板固定ねじ

針板はAとBがあり、それぞれぬい目の種類に合わせて使い分けます。
詳細は38ページのぬい目とミシンのセットを参照ください。

・針板A：カバーステッチ、二重かんぬい以外のすべてのぬい目
・針板B：カバーステッチ、二重かんぬい

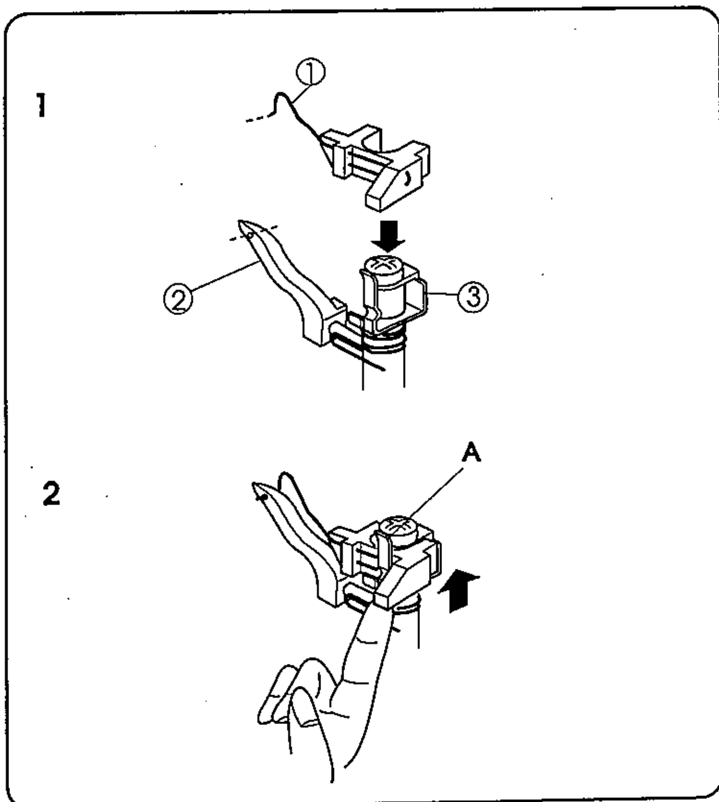
◆つけ方、はずし方

＊針板の交換時は必ずかがり爪をR位置にして行ないます。

⚠ 電源スイッチを切ってください。

1. ルーパーカバーと布板をひらきます。
2. 切り幅調節ダイヤルを右いっぱいに寄せながらかがり爪つまみをRに移動します。
3. 押えをはずします。
4. 針板固定ねじをはずして、針板をはずします。
5. 送り歯の窓に合わせて針板をとりつけます。
6. 押えをとりつけます。
7. ぬい目に合わせて、かがり爪をSまたはRにします。
8. ぬい目に合わせて布案内をとりつけます。
9. ルーパーカバーと布板をしめます。

● スプレッダーのつけ方、はずし方



ふちかがり2やフラットロック2など、ぬい目に合わせてスプレッダーを使用します。
詳細は38ページのぬい目とミシンのセットを参照ください。

⚠ 電源スイッチを切ってください。

◆つけ方

スプレッダーを図のように、上からホルダーにさしこみます。
次に、スプレッダーの先を上ルーパーの糸穴に後方から入れます。

◆はずし方

ホルダーのA部を手前に軽く引きながら、スプレッダーの下部を下から押しあげて抜きとります。

①スプレッダー
②上ルーパー
③ホルダー

● 合わせかがり４からカバーステッチへの切り替え

ぬい目を選びなおすと、ミシンのセットを変更しなければならない場合があります。
ぬい目ごとのミシンのセットは38ページに表で示してありますが、ここでは、具体的に合わせかがり4からカバーステッチへぬい目を変える場合と、カバーステッチから合わせかがり4へ変える場合のミシンのセットの切り替え手順を早見表で示します。

⚠ 電源スイッチを切ってください。

(1)合わせかがり4からカバーステッチへ変更

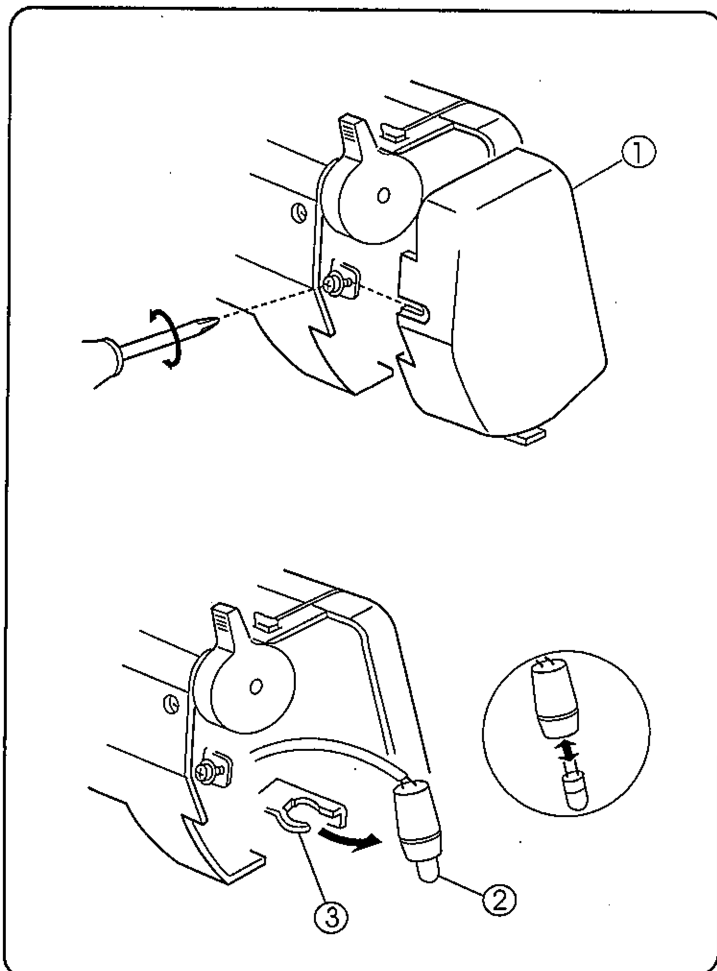
合わせかがり4 → カバーステッチ		
	切り替え項目	セット状態
1	かがり爪つまみ	S → R側
2	上メスつまみ	駆動 → 解除側
3	押えA 針板A	取り外す
4	針板B 押えB	取り付ける
5	針の位置	LF　RF LF、RFを使用する
6	上ルーパー 切替えつまみ	左側へ合わせる
7	布案内	布案内A → 布案内B

＊合わせかがり4から二重かんぬいへの変更の場合は、針の位置がLFとなる以外は上表と同様の手順になります。

(2)カバーステッチから合わせかがり4へ変更

カバーステッチ → 合わせかがり4		
	切り替え項目	セット状態
1	押えB 針板B	取り外す
2	針板A 押えA	取り付ける
3	針の位置	LB　RB LB、RBを使用する
4	かがり爪つまみ	R → S側
5	上メスつまみ	解除 → 駆動側
6	上ルーパー 切替えつまみ	右側へ合わせる
7	布案内	布案内B → 布案内A

● 電球のとりかえ方



⚠電源スイッチを切ってください。

⚠電球をとりかえるときは、電球が冷えていることを確認してください。

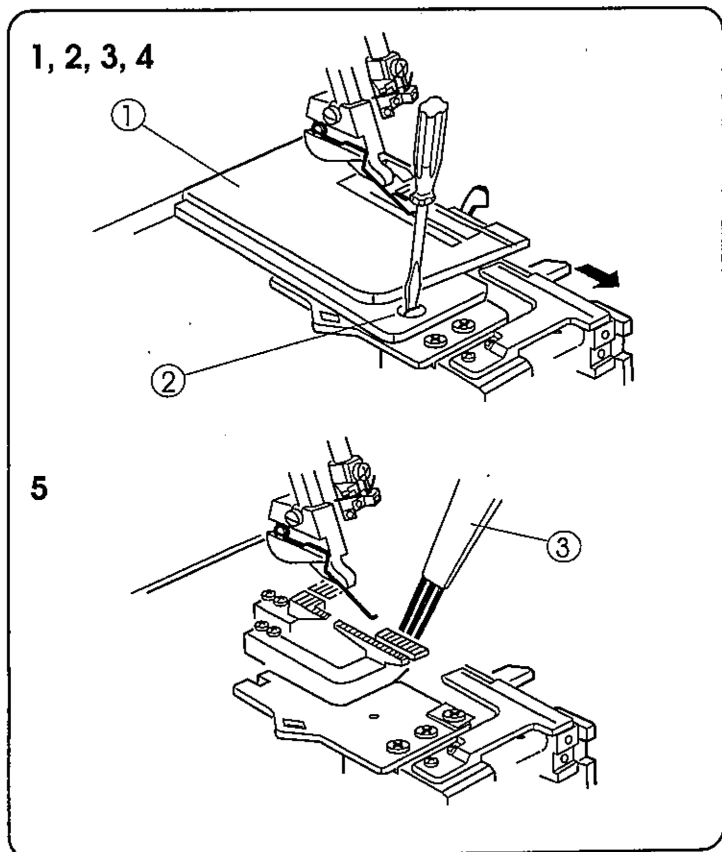
1. 面板のしめねじをゆるめて、面板をはずします。
2. ランプソケットをホルダーから抜きとります。
3. 電球をランプソケットから抜きとります。
4. 新しい電球をランプソケットにさしこみます。電球の端子をランプソケットに合わせてしっかりとさしこみます。
5. ランプソケットをホルダーにさしこみます。
6. 面板をとりつけて、しめねじをしめます。

⚠電球をはずした状態でミシンを使用しないでください。

＊このミシンの電球は照明用
13.5VAC、3Wを使用してください。

①面板
②電球
③ホルダー

● 送り歯の掃除

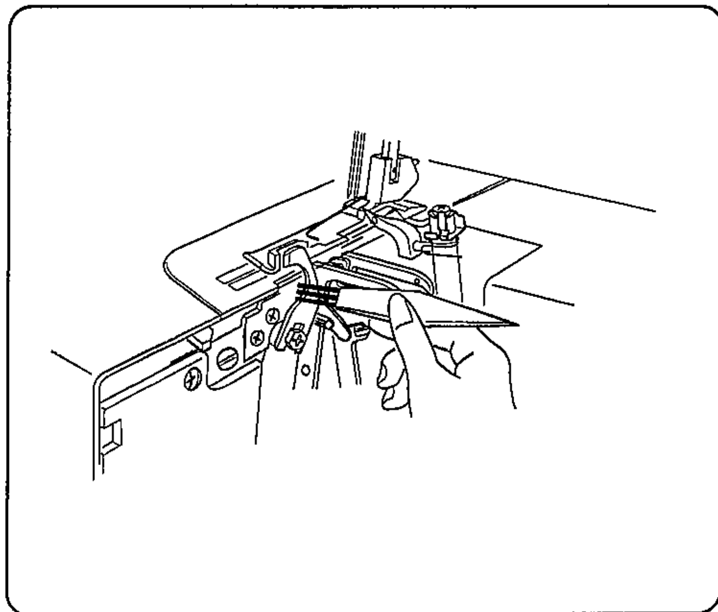


⚠電源スイッチを切ってください。

1. ルーパーカバーと布板をひらきます。
2. 切り幅調節ダイヤルを右いっぱいに寄せながら、かがり爪つまみをRに移動します。
3. 針と押えをはずします。
4. 針板固定ねじをはずして針板をはずします。
5. 送り歯のごみをブラシで掃除します。みぞのごみをしっかりとります。
6. 針板、押え、針をとりつけます。
7. かがり爪つまみはぬい目に応じて、SかRに合わせます。
8. ルーパーカバーと布板をしめます。

①針板
②針板固定ねじ
③ブラシ

● 切りくずの掃除

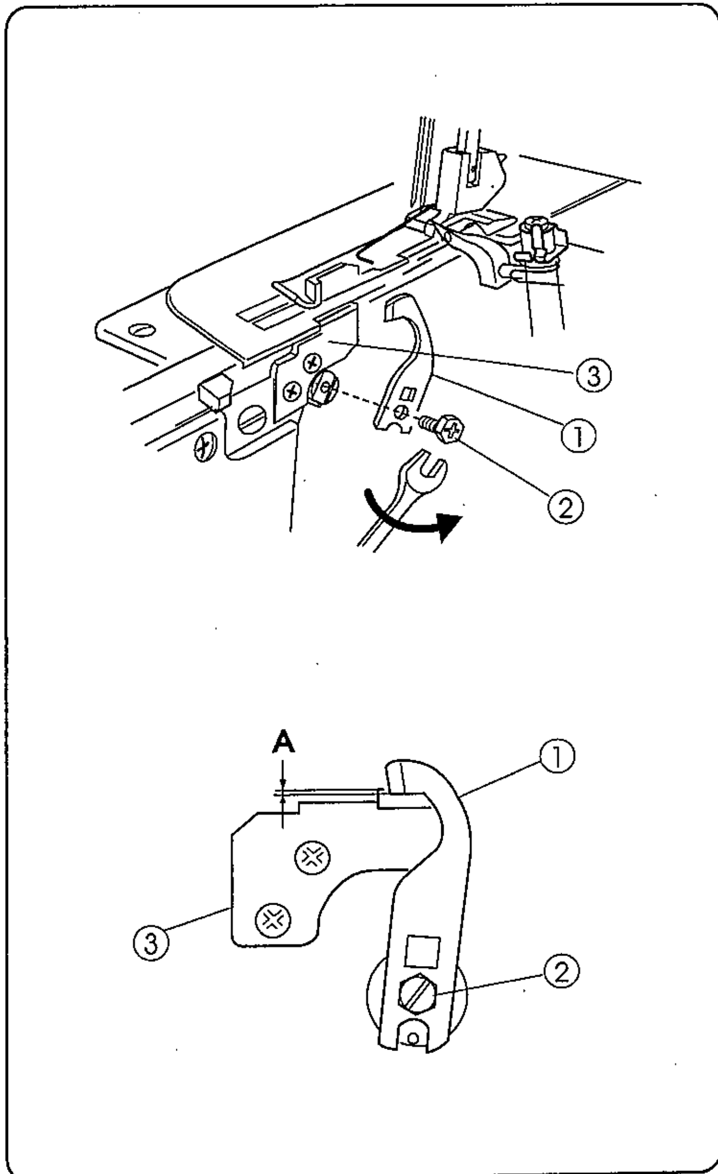


⚠電源スイッチを切ってください。

1. ルーパーカバーをひらきます。
2. ブラシで切りくずをとり除きます。
3. ルーパーカバーをしめます。

＊ブラシでとれにくい場合は、電気掃除機を使うときれいになります。

● 上メスの交換



⚠電源スイッチを切ってください。

◆ とりはずし方

1. ルーパーカバーをひらきます。
2. はずみ車を手前にまわして、上メスを上いっぱいの位置にします。
3. 六角ボルトをスパナではずし、上メスをはずします。

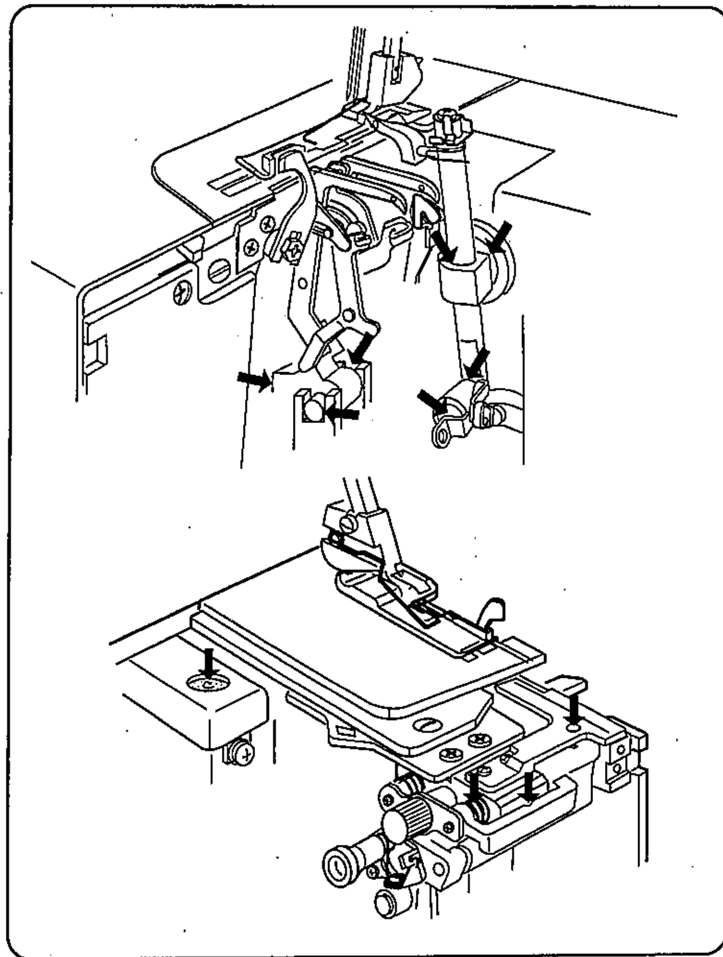
◆ とりつけ方

1. 上メスホルダーのみぞに新しい上メスをとりつけ、六角ボルトを軽くしめます。
2. はずみ車を手前にまわして、上メスを下いっぱいの位置にします。
3. 六角ボルトをゆるめて、上メスの刃の先端と下メスの重なりが0.8mm〜1.5mmになるように上メスの位置を合わせ、六角ボルトをしっかりしめます。
4. ルーパーカバーをしめます。

①上メス
②六角ボルト
③下メス

A：0.8mm〜1.5mm

● 注油のし方



⚠電源スイッチを切ってください。

1. ルーパーカバーと布板をひらきます。
2. 矢印の箇所に良質のミシン油を1～2滴注油します。

＊注油は普通の使い方の場合、1週間に1回程度、連続使用の場合、10時間に1回程度です。

＊注油後、ルーパーカバーと布板をしめ、電源スイッチを入れて、糸を通さずに試しぬいの布をカラぬいして、ミシンに油をなじませます。

⚠ミシンを運転するときは、必ずルーパーカバーと布板をしめてください。

● 調子がよくないときの直し方

調子がよくない状態	原　　因	直し方
布をなめらかに送らない。	・押えがあがっている。 ・送り歯に切りくずがつまっている。	押えをおろす。 46ページ参照
針が折れる。	・針のつけ方がまちがっている。 ・針がまがっていたり、針先がつぶれている。 ・布地を無理に引っぱっている。 ・指定の針を使っていない。	38, 39ページ参照 39ページ参照 後ろへ軽く引く程度にする。 HA×ISP 14番、11番をお使いください。
糸が切れる。	・糸の掛け方がまちがっていたり、必要以外のところにからみついている。 ・糸調子が強すぎる。 ・針のつけ方がまちがっている。 ・針がまがっていたり、針先がつぶれている。	18～29 ページ参照 33 ページ参照 38, 39 ページ参照 39 ページ参照
ぬい目がとぶ	・針のつけ方がまちがっている。 ・針がまがっていたり、針先がつぶれている。 ・糸の掛け方がまちがっていたり、必要以外のところにからみついている。	38, 39 ページ参照 39 ページ参照 18～29 ページ参照
ぬい目の調子が悪い。	・糸調子が強すぎるか、弱すぎる。 ・糸の掛け方がまちがっていたり、必要以外のところにからみついている。 ・針と糸が布に対して合っていない。 ・糸調子皿に糸が確実に入っていない。 ・切り幅の調節が合っていない。	33 ページ参照 18～29 ページ参照 37 ページ参照 19,21,24,26,28ページ参照 41 ページ参照
ぬい目がしわになる。	・糸調子が強すぎる ・糸の掛け方がまちがっていたり、必要以外のところにからみついている。 ・ぬい目あらさまたは伸縮送りの設定が合っていない。 ・かがり爪の位置がぬい目に合っていない。 ・切り幅の調節が合っていない。	33 ページ参照 18～29 ページ参照 34 ページ参照 38, 42 ページ参照 41 ページ参照
ミシンがまわらない。	・コンセントにプラグが確実にさしこまれていない。 ・電源スイッチがOFFになっている。	5 ページ参照 5 ページ参照
布がきれいに切れない。	・上メスのとりつけ位置が適正でない。 ・上メスの刃がつぶれている。	47 ページ参照 47 ページ参照
タッチパネルが見えにくい。	・輝度調整つまみが正しく調整されていない。	9 ページ参照

仕様

項目	内容	項目	内容
使用電圧	100V　50/60Hz	縫い目のあらさ	1～5 mm
消費電力	120W/ランプ 3W	伸縮送り	0．5～2．2
外形寸法	幅 387mmX 奥行 288mmX 高さ 322mm	かがり幅	3.5mm、5.7mm (3本糸) 5.7mm (4本糸) 9.5mm (5本糸)
重量	12Kg（本体）		
使用針	家庭用　HAX1　SP針 11番・14番		
縫速度	毎分 1300 回転	カバーステッチ針幅	

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

お客様相談コーナー

★ジャノメミシンでは全国１６０の直営支店で万全のアフターサービスをしております。この手びきに書かれている方法で直らないときは、最寄りの支店へご連絡ください。

★お問い合わせの際は、この手びきをお読みになりながらお電話くださると係員も故障の原因や箇所がわかって便利です。

★アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、本社お客様相談室または、下記の代表支店へ何なりとお申しつけください。

本社・お客様相談室　☎ 03 (3277) 2200
〒 104-8311 東京都中央区京橋 3-1-1

池袋支店　☎ 03 (3987) 5266
〒 170-0013　東京都豊島区東池袋 1-28-7

西東京支店　☎ 03 (3337) 0482
〒 166-0001　東京都杉並区阿佐ヶ谷北 2-36-1

八王子支店　☎ 0426 (42) 0777
〒 192-0046　東京都八王子市明神町 4-11-12

横浜支店　☎ 045 (842) 3816
〒 233-0002　神奈川県横浜市港南区上大岡西 1-13-18

千葉支店　☎ 043 (222) 5121
〒 260-0012　千葉県千葉市中央区本町 1-5-14

船橋支店　☎ 0474 (32) 2785
〒 273-0011　千葉県船橋市湊町 2-1-8

大宮支店　☎ 048 (641) 2975
〒 330-0841　埼玉県さいたま市東町 1-66-1 第3開新社ビル 1F

川越支店　☎ 0492 (22) 2454
〒 350-0043　埼玉県川越市新富町 1-12-12

高崎支店　☎ 027 (324) 0055
〒 370-0831　群馬県高崎市新町 118

富山支店　☎ 076 (431) 8827
〒 930-0029　富山県富山市本町 3-25

三条支店　☎ 0256 (32) 1737
〒 955-0071　新潟県三条市本町 4-1-8

長野支店　☎ 026 (228) 1491
〒 380-0928　長野県長野市若里 3-1-43

仙台支店　☎ 022 (249) 4161
〒 982-0011　宮城県仙台市太白区長町 5-3-25

郡山支店　☎ 024 (932) 3362
〒 963-8852　福島県郡山市台新 1-4-15

盛岡支店　☎ 019 (624) 6741
〒 020-0021　岩手県盛岡市中央通 2-9-20

名古屋支店　☎ 052 (733) 5116
〒 466-0027　愛知県名古屋市昭和区阿由知通 1-12-3

津支店　☎ 059 (228) 4900
〒 514-0041　三重県津市八町 1-1-10

浜松支店　☎ 053 (476) 5191
〒 433-8122　静岡県浜松市上島 5-5-30

大阪支店　☎ 06 (6583) 8031
〒 552-0002　大阪府大阪市港区市岡元町 3-1-4

奈良郡山支店　☎ 0743 (54) 3060
〒 639-1012　奈良県大和郡山市城見町 2-4

和歌山支店　☎ 0734 (31) 6216
〒 640-8033　和歌山県和歌山市本町 2-12

尼崎支店　☎ 06 (6432) 3307
〒 661-0041　兵庫県尼崎市武庫の里 1-12-3

加古川支店　☎ 0794 (23) 9980
〒 675-0066　兵庫県加古川市加古川町寺家町 75-8

西陣支店　☎ 075 (461) 7940
〒 602-8276　京都府京都市上京区千本通上長者町上ル百万遍町 89

岡山支店　☎ 086 (222) 8896
〒 700-0814　岡山県岡山市天神町 1-26

広島支店　☎ 082 (228) 5181
〒 730-0016　広島県広島市中区幟町 15-9

観音寺支店　☎ 0875 (25) 2887
〒 768-0060　香川県観音寺市駅通り甲 1017-5

熊本支店　☎ 096 (354) 6523
〒 860-0845　熊本県熊本市上通り町 8-15

大分支店　☎ 097 (543) 1616
〒 870-0047　大分県大分市中島西 1-2-24

長崎支店　☎ 095 (849) 6025
〒 852-8107　長崎県長崎市浜口町 3-8

(株) ジャノメ北海道販売　札幌本店　☎ 011 (861) 5634
〒 003-0027　札幌市白石区本通 3丁目北 1-21

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ジャノメミシン

東京都中央区京橋3-1-1蛇の目ミシン工業(株)

888-802-062